

アセンション BOOK12

ライトコード1

2014年12月

*Evolution of the human  
and the space*

ライトコード1

未来へと続くライトコード



未来へと続くライトコード 目次

- 第 1 章 マスターアーサーと地球人の遺伝子
- 第 2 章 未来から来たアメンラーと太陽人種の遺伝子
- 第 3 章 遺伝子を受け取るための未来への旅
- 第 4 章 隠された月と太陽の目覚め
- 第 5 章 1 万年後の天の川銀河の異変
- 第 6 章 プレアディス星団のドルフィン・コード
- 第 7 章 ライトコード・ラボ（研究所）
- 資料 宇宙の創造主の段階

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式 HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI

[yume34@k-suai.com](mailto:yume34@k-suai.com)

イラストえんじえる（佐藤弘之）

アメブロ

<http://ameblo.jp/angel-art2010/>

# 第1章 リラ星のマスターア ーサーと地球人の遺伝子

## PART1 地球人の遺伝子の問題を解決するために未来へ

私達は、ライト・ボディのアチューメントを行っている時に、ライト・ボディのマスターによって一つの世界に導かれました。

そこに待っていたのは一人のマスターです。彼は、自分はマイトレーヤのエネルギーである事を伝えてきます。

彼は、私達に、もう一つのライト・ボディのアチューメントを創るようお願いしてきました。

現在行っているライト・ボディのアチューメント・シリーズは、しっかりとライト・ボディになる事を目指す人達が受けていくためのアチューメントであり、とても効果が高いものであるが、ライト・ボディをよく理解できていない人や、まだスピリチュアルの事に深い関心を持っていない人達にするならば、そのエネルギーは大きすぎて受け取る事が困難であるとの事です。

その為に、まだスピリチュアルの事に深い関心を持たない人達でも受け取れる程度のアチューメント、さらにいうならば、ライト・ボディやスピリチュアルの成長に興味を持ってもらうためのアチューメントを作っしてほしいという事でした。

しかし、そのアチューメントは、シリーズで行っているアチューメントにも負けなくらい効果が高いアチューメントになるという事です。

私達は、マスターの話を聞くと、グレート・ブッダを呼び出しました。

ライト・ボディのアチューメント・シリーズではブッダはあまり表に出る事はありませんでしたが、おそらくライト・ボディとブッダは、深く関係していると思われたからです。

私は、ブッダにライト・ボディのアチューメントとの関係を尋ねました。

彼は、ライト・ボディのアチューメントに対しては、その事を見守り守護している存在である事を伝えてきました。

そして、大犬座に現れ、私達にライト・ボディのアチューメントを授けてくれたのも、実は大犬座のマスターというよりも、グレート・ブッダの元に集められた宇宙の偉大なるマスター達である事もわかりました。

そして、グレート・ブッダは次にマイトレーヤを呼び出し、新たなアチューメントの創始に入ったようです。

今回生まれるアチューメントは、多くの人達が受け取りやすくするためにグレート・ブッダとマイトレーヤが共に働く事となりそうです。

それはこの地球の多くの人達と分かち合われるべき意識進化のための光であり、私達の成長をサポートするための大いなる光となるアチューメントです。

マイトレーヤに会ったのは朝のアチューメントでしたが、夜のアチューメントの時に事態は思わぬ方向に事態は急展開し始めました。

アチューメントの時に、私達のビジョンの中に光のマカバの中に浮かぶ地球の姿が浮かびあがりました。

そして聖母マリアが現れ、地球にいくつものDNAに関する問題が起きていてそれを解決してほしいと、私達に頼んできました。

マカバの中の地球をよく見ると、アフリカやアジア等の各地に黒ずんだところが見えます。

私達はこの事について聖母マリアに尋ねてみました。

「ここは地球でもとても古くから人類が生きていた場所です。

この地に住む人達の遺伝子にとっても大きな問題が起こっているのです。

それは地球の人達すべてが持つ問題ですが、とりわけ彼らは大きな影響を受けています。」

私はこの問題を解決するために、この宇宙の代表者達で構成された評議会であるユニバーサル・パレスに生き、ユニバーサル・パレスの会議室でこの問題をマスター達に投げかけてみました。

するとオリオン星雲のマスターが立ち上がり話始めます。

「実は、地球の人類の遺伝子は、私達とアンドロメダ銀河のマスター達が中心になって作り上げてきたものですが、その問題となっている部分は、私達もよく認識しております。それは、地球の人類に、競争原理や発展・成長の原理を入れるために、特別の遺伝子を一つ組み合わせたのです。

その遺伝子は人類をこの宇宙の中でも、とりわけ優秀な人類へと導くはずだったのですが、その遺伝子は、いつしか他者に対する支配や差別、抑圧を生み出してしまいました。

地球の人類の遺伝子の組み合わせに問題が起きてしまったから、私達はその遺伝子を修正しようと思い、いくつかの方法を試しましたが、その問題はまだ解決されておらず、地球は争いと抑圧を繰り返しているのです。」

それでは、その遺伝子の修正をおこなうためにはどうしたらよいですかと、私は尋ねました。

そのとき一人のマスターが、立ち上がり意見を述べました。

「未来の地球では、その問題が解決されているようです。

未来の地球の遺伝子を現代に持ち帰り、そのエネルギーを、現代の人類の遺伝子に反映させたらどうですか。」

私には、とても奇抜なアイデアに思えますが、未来の地球においてこの問題が解決されている事に対してとても大きな興味がわきました。

人類はどのようにして、自分達の遺伝子を変容させ、争いや差別がない世界を作ったのだろうか・・・

私は、彼の話を確認してみようと思いました。ユニバーサル・パレスの中で、遺伝子や人類の成長の事に深く関わるマスター達を集め、私達専用の宇宙船であるフェニックス号で地球の未来へと行く事にしました。

私達と数名のメンバー達は、フェニックス号に乗り、先ほどのマスターが指示した未来へと行く事となりました。

## PART2 リラ星のマスターアーサーと遺伝子修正の光

私達はフェニックス号にのって時間のトンネルを通りぬけ、未来の地球へと向かいます。私にはその未来が、どれほど先の未来かわかりませんが、光の中をフェニックス号は進んでいきます。

やがて、私達は到着したようです。

窓から外を見ると確かに地球のようですが、雰囲気はかなり変わっています。

地表には都市はおろか自然の姿も見えませんが、何か重苦しい雰囲気さえもします。

私達は、注意深くフェニックス号から外に降り立ちました。

私達はこの星のマスターを呼び出すと、私達が来る事を待っていたかのように一人のマスターが現れました。

彼は鎧を身に着けヨーロッパの中世の騎士のような姿をしています。

彼の後ろには、鎧を着た数名の騎士団も控えています。

私は、地球の未来に来たのに、どうして中世ヨーロッパの人がいるのか不思議でたまりません。

私は彼に挨拶を行った後に、彼が誰であるか尋ねてみました。

よくマスター達は、私達の意識の中のあるデータをもとにその姿を現しますから、きっと地球の歴史上のマスターと関係がある存在である事に間違いはありません。

「私は、地球では、アーサーとして知られている者です。」

「アーサーというとあのエクスガリバーのアーサー王ですか？」と私は尋ねます。

という事は後ろに控えている騎士団は円卓の騎士団という事でしょうか。

「そうです。」

私は、あなた方の歴史の中で活躍しているアーサー王ですが、本当のところは、アーサー王のスピリットといったほうがよいでしょう。」

私はその言葉を非常に不思議に思い、アーサー王と歴史的にも深い関係にある魔法使いマーリンを呼び出しました。

マーリンは、私達の活動仲間であるのですぐに出てきてくれました。

私はマーリンに彼がどのような存在であるかと尋ねます。

マーリンは、彼の事を良く知っているようです。

「TAKESHI さん、アーサーと呼ばれるマスターは、私達に魔法や宇宙の神秘を教えてくれたマスターで、私の偉大なる師でもあります。」

私は少し驚きました。

というのも歴史的には、マーリンがアーサー王に魔法などを教えた事になっているからです。

「TAKESHI さんが驚かれるのも不思議ではないのです。

実は、こちらにいらっしゃるマスターは、私達の知る中でも特に優れた叡智と力を持つマスターで、私を通してアーサー王に様々な秘術を教えてくださいましたのです。

その時のアーサー王は、このマスターの一部を現実世界に投影したような存在でした。

自分の一部をこの地球に降ろして、本体のマスターアーサーが、私を通して地球のアーサー王の指導をしていたという事になります。地球の人には、このマスターアーサーの存在は、知られていませんでしたので、私マーリ



ンがアーサー王に様々な秘術を授けたように思われていますが、私はただの仲介者だったのです。」

私は、アーサーに向かって尋ねました。

「あなたは、地球のいくつかの時代に現れて活動を行っていたのですか。

アーサー王以外の時代にも表れた事がありますか、」

マスターアーサーは答えます。

「私は、地球だけでなくいくつもの星々を回っていますので、それほど頻繁に地球と関わっていたわけではありませんが、地球にとって大切な時期には現れます。」

私は、グレート・ブッダに尋ねます。

「あなたは、マスターアーサーと深い関わりはありますか？」

グレート・ブッダはもちろんですというような顔をして言います。

「私達にとっても偉大な師です。分からない事があれば、私はよくマスターの元を訪ねて教えをいただく事にしています。」

聖母マリアも私達の前に現れます。

そしてアーサーに一礼するかのようにお辞儀して私に話しかけます。

「実は、イエスもこのマスターアーサー様によって育てられたのですよ。

私や地球のマスターを通して、幼子のイエスの時から私達を導いてくれました。」

私にもこのマスターアーサーの事が少しずつ分かりかけてきました。

「マスターアーサーよ、あなたが実に偉大なるマスターである事が私達には理解できてきました。」

それでは、一つお願いをして良いですか。あなたの本当の姿を見せてもらえませんか。」

マスターアーサーはにっこり笑うと、大きな光が彼を包みます。

彼が来ていた鎧も光の中で溶けていきます。光の中から現れてきた姿を見て私達は驚きました。

神々しい光に包まれた体が見えてきます。そして頭の両側に羊の角のような丸くなった部分がついているのです。

勿論、私達が会っているのは地球人だけではないので、本当の姿を見せてくれた場合には、地球人とは全く異なる姿を見せてくれるのが普通です。

私は、マスターアーサーに尋ねました。

「偉大なるマスターアーサーよ、あなたはどの星域からいらしたのですか。」

「私達は、皆さんがリラと呼んでいる世界から来ました。」

リラ星とは、私達の天の川銀河の中でも、叡智ある生命が最初に作られた星であると私は聞いています。

宇宙の創造主であるブラフマン達は、リラ星に叡智ある存在を作り上げました。

そして、リラ星人がいくつもの星に分かれて住む事で、他の星の人達との融合を行い、この宇宙にいくつもの叡智ある種族が広まっていったのです。

リラ星は、この宇宙の叡智ある存在の源といってもいいかもしれません。

しかも、このマスターアーサーはただのリラ星の人というよりも、リラ星の人々を育て導いてきた存在のような気がします。

「偉大なるマスターアーサーよ、あなたがリウ星の出身であるという事は、あなたのその叡智あふれる姿を見れば、理解できる事ですが、リウ星が崩壊した後あなたはどのようになさっていたのですか。」

「TAKESHI さん、私達の事を理解してください大変ありがとうございます。

その後私達は、いくつもの星々を旅し、私達の叡智を分かち合う必要がある星々へ降り立ち、その指導をしていました。」

「あなた方は、宇宙船を利用して移動していたのですか。

それではその宇宙船を私達に見せてもらってよいですか？」

アーサーは空を指さすと、空の雲がサーと晴れわたり、その後ろに空を多い尽くすばかりの巨大な宇宙船が姿を現します。

私はそのあまりの大きさにびっくりしてします。

「これは宇宙船というよりも大きな母船のような感じですね」

「私達は、宇宙船というよりはこのような宇宙基地の中で暮らしています。

もうこの時代には、私達は、宇宙船で移動するのではなく、いくつものゲートを通して目的の星に行く事ができるようになっています、その為の巨大基地です。」

私も、さすがにその基地の大きさと移動方法については驚きましたが、私達の時代からはるかな未来ですので、そこまで宇宙工学は進んでいったという事でしょう。

そこで私は、自分達がここに来た理由を思い出しました。

地球の遺伝子の問題を解決するための方法を学びに来たのです。

「偉大なるマスターアーサーよ、私達を助けてほしい事があります。

実は、21世紀の地球には、人類の遺伝子に関して大変な問題が起きています。

地球の人類が初めて作られたときに、地球人の遺伝子の中に、競争原理の遺伝子が入れましたが、その遺伝子が活性化される事により、人類は競争して進化するだけでなく、他者を支配し服従させたり、又差別して自分達のために働かせたり抑圧したりする事を覚えてしまいました。

その事によって、多くの人が傷つけられ苦しめられているのです。

私達はその問題を解決したいと思っていますが、その事に関してあなたの助けを得る事ができませんか。」

「TAKESHIさん、もちろんです。

あなた方が、そのためにここに来た事も知っていますし、私達もその事に応えるためにここで待っていたのです。

この時代の地球人は、すでにそのような人類の欠点とも呼べる特質を乗り越えています。今の人類は、その当時の人類よりもさらに思慮深く、愛に満ち、調和を実現しています。」

「偉大なるマスターよ、本当にありがとうございます。

私達もそのように思っております。

私達はその遺伝子の特性を身につけ、その遺伝子の光を地球に満たす事ができるようにお導きください。」

マスターアーサーは、私達に向かって心地よい光を降ろし始めました。

マーリンもグレート・ブッダやマイトレーヤも静かにその光を受け取っています。

どうやらこの光が、現在の地球の多くの人々の遺伝子の不具合を調整するとともに、ライト・ボディを広める光としての大切な役割を担っていくようです。

私達はこの光をしっかりと受け止め、私達のスピリットにつなぎます。

そして、私達はその光をもって、現代の地球に戻ってきます。

私達は、まずこの光をユニバーサル・パレスのクリスタルにつなぎ、そこから地球と天の川銀河につなぎます。

地球に光を降ろす時はマスター達にお願いして神聖幾何学を描いてもらい、その中を通していきます。

そしてアフリカやアジアなど、今日最初に見た時に黒ずんでいた場所に、その光を満たします。

光がその地に満ちると、黒ずんだ場所は少しずつきれいに輝いてきます。

おそらくその場所に生きる人達の潜在意識やスピリチュアル・レベルにおけるエネルギーの異常は、少しずつ改善されていく事でしょう。

勿論、現実問題として、差別や支配そして抑圧がなくなる訳ではありませんが、その元となるエネルギーに変化は出てくるはずです。私達は、その事を祈りながらエネルギーを送り続けます。

## PART3 未来の地下都市

私達がマスターアーサーと出会った翌日、私が遙さんにライト・ボディ6のアチューメントを行っているときに、私のアチューメントに大きな変化が生まれてきました。

ライト・ボディ6のアチューメントは、最初にエネルギーの浄化を行いますが、その時に、首の後ろにあるスピリチュアルDNAの場所に対して特殊の光を用いてDNAの調整を行う事ができるようになりました。

残念ながら、その効果や結果に対してはよくわからないのですが、その部分に光を当てる事により、DNAの状態が変化していく様子が感じられるのです。

もちろんこれが、マスターアーサーの光による変化である事に間違いはないと思われま

す。

そしてアチューメントの終了後に再びグレート・ブッダが現れました。

「TAKESHIさん、実はもう一度未来に行っていただきたいのですが、お願いできませんか。

どうしても受け取ってもらいたいものがあるのです。」

私は、グレート・ブッダに言いました。

「もちろんいいですよ、またアーサーに会いに行くのですね。」

「そうです。お願いします。」

私は、フェニックス号を呼び寄せました。

中にはもうすでに、前回一緒にいったメンバー達も乗り込んで待っています。

私は、フェニックス号の船長に、再び昨日と同じ未来に行ってもらおうようお願いしま

した。

「船長よ、私達が行く未来は、どのくらい先の未来なのですか。」

「そうですね、皆さんの時間でいうと、およそ1万年先の未来です。」

私達は、1万年先という言葉に、なぜか納得しています。

ここまで来たら何が起こってもおかしくないですからね。

やがてフェニックス号は1万年後の未来につきました。

今日は遥さんと共に古くからのメンバーである葵さんにも途中から加わってもらいました。

彼女と一緒に来れば、ほとんどのマスターと話をすることが出来ます。

私達が、船を降りて周りの様子を見ると、昨日は分らなかった所まで見えてきます。

この世界の空には、雲が重く立ち込め、自然はさほど豊かではなく、少し重苦しい雰囲気です。

私は、1万年後の地球であるにも関わらず、人の生活している雰囲気が全くない事が気になります。

私達の前に、光が輝きマスターアーサーが現れました。

「マスターアーサー、昨日は大変ありがとうございました。」

21世紀の地球に、あなたから頂いた光をつなぐ事ができました。

とても感謝しています。

しかしマスターよ、教えていただきたいのですが、この世界の人類達はいったいどこにいるのですか、多くの問題をクリアして、愛と

調和に満ちた世界を作っているはずですが、その姿が見当たらないのですが。」

マスターアーサーは、今回はアーサー王のような鎧姿ではなく美しい白い軽やかな服を身に着けています。

「TAKESHIさん、こちらこそ、皆さんの活動に感謝しています。

あなたがこの世界に来てくれて本当に良かった。

これで地球は新たなパラレルワールドにはいる事ができます。

皆さんが、この未来の地球に来て、人の姿が見えないとおっしゃるのも当然の事です。

地球の人々は、もうすでにこの地表には住んでいないのです。

それでは皆さんを、人々が生活している場所へのご案内いたしましょう。」

私達は、地上からどこかにつながっているトンネルの中に入っていました。

その途中は森のような緑色や土のような茶色の色が入り交ざった光の通路です。

私達は一つの扉の前にやってきました。

マスターアーサーは、その扉を開いて、私達を中に招き入れます。

「これから行く場所は、未来の地球において、人々が生活している地下社会です。

どうぞ、中に入られてください。」

私達は展望台のような所に案内され、そこから眼下に広がる近代的な世界を見えています。その光景は、まるで近未来を現したSF映画のようです。

美しく輝く高層ビルとその間を抜けていく光のチューブの中を走っている乗り物のようなものが見えます。



「アーサーよ、この世界の人々は、どのように生活しているのですか。

この地下都市の人々に会わせていただく事はできますか。」

アーサーはうなずくと、近くにあるエレベーターのようなものに乗し、人々の世界へと降りていきました。

私達は、かつて地球がパラレルワールドになるときに、主に4つの地球に分かれる事を学びました。

一つは、核戦争や自然破壊によって荒廃し、人々が住めなくなった地球。

そして、フェアリー達による創造の源となる地球とスピリチュアル的に高度なレベルに達したマスター達の地球。

そして、高度の叡智を持つにいたった人類達による地下社会を持つ地球です。

私達が来ている場所は、まさに最後の地下社会を持つ地球である事に間違いはないようです。

私達は一つの建物の中に入っていました。そこは、他の世界から来た人々を受け入れるためのビジターセンターのような場所です。数名の地球人達が挨拶をしてきました。

彼らは、もうすでに、現代の私達のような肉体的な存在ではなく、どこか透き通るようなエネルギーと体を持っています。

アーサーに話を聞くと、これは彼らの防御服のようなもののためにそのように見えるようです。

「この場所では、人間にとって十分な大気がないために、常に防御服のようなものを身につけて体を守っています。

勿論建物の中でも、大気や圧力などの環境が

コントロールされている場所では、彼らはその防御服を脱ぐ事もできますが、彼らは常にこのような防御服を身にまとっている事が普通です。」

私は、アーサーに聞きます。

「この世界の地球では、かつて核戦争や自然破壊によって多くの放射能や人工的な大気汚染物質が蔓延して、人々が地上に住めなくなり地下社会を作ったと聞きましたが本当ですか。」

アーサーは少し苦笑いをしながら答えます。

「残念ながらそうです。

この地球の地表は、人々が住むには、あまりにも過酷な環境となってしまいました。

その為に叡智ある人々は、この地下に社会を作る事にしましたのです。

核戦争によって地球の環境だけでなく地球の大気の層も破壊され、有害な放射線なども昔以上に降り注いでいますし、隕石などの被害も受けやすくなりましたので、人々は自分達を守るために、地下社会を作る事になりました。」

「核戦争が起こった時に人々はいったいどうしたのですか。

ここに生き残っている人達はどのようにして守られたのですか？」と私は尋ねます。

「TAKESHI さん、その事については、皆さんもよくご存じかと思えますし、皆さんがこれから体験する事になっていますので、詳しくは述べませんが、一部の目覚めた人達は、この地球を見守る星々のマスター達によって助けられました。

星々のマスター達による救済を受け入れた人達は、マスター達によってしばらくの間、

安全なところに移され、地球の浄化がある程度行われた後、再び地球に戻され、地下社会を形成して行ったのです。」

「安全なところというのは、宇宙船という事ですか？」

「そうですね、そのための準備を、あなたの時代では、あなた方が始めているのです。それは、宇宙船を作る事も大切ですが、宇宙船に乗るために、皆さんがライト・ボディや活性された遺伝子を持つ人類に進化していく事が必要となってくるのです。」

「アーサーよ、私達がライト・ボディのアチューメントを行ったり、星のツアーのなかで宇宙船を作り上げているのは、未来の宇宙に残る人々を育てていくためなのではないでしょうか。」

「TAKESHIさん達は、そのように考えられてもよいと思います。

ライト・ボディになった人達や人間の遺伝子を活性化した人達は、人間が本来持っていた資質や能力に目覚めてくると共に、意識も高まってきますので、新しい人類のひな型として育てていく事ができるのです。

彼らは、戦争や自然破壊という過酷な現実を通して、自分達の行ってきた事を深く反省し、そうではない生き方を選ぶ事となります。そのような体験から、地球の人類は新たな遺伝子を目覚めさせていくのです。」

## PART4 2つの新たな遺伝子

「新たな遺伝子とはどういう意味ですか？」

「新たな遺伝子は2つあります。

一つは、人類が引き起こした核戦争や自然破

壊によって、地球は放射能や大気汚染、水の汚染など大変劣悪な環境になってしまいます。

しかしその中でも地球人は生きていかなければなりません。

たとえ地下社会ができたとしても、地球の環境の悪化は、その場所にまで大きな影響を与えているのです。

人類は、やがてそのような環境の中でも生きていけるような遺伝子を自ら作り上げるでしょう。」

「劣悪な環境に対する抵抗力を作り出す遺伝子という事ですね。

それではもう一つの遺伝子はなんですか？」

「もう一つの遺伝子は、皆さんがこの地球を破壊してしまった原因ともいえる支配欲や所有欲を愛と調和のエネルギーに変えるための遺伝子です。

この競争原理ともいえる遺伝子は、長いあいだ地球の人々の遺伝子構造の中心的な物でした。

新たな愛の遺伝子は、この競争原理の遺伝子の働きを抑え、皆さんが本来持っている愛と調和のエネルギーを活性化するための遺伝子です。

この遺伝子を新たに付け加える事によって、人類は争いや支配、他の生命に対する抑圧のない世界を作り出す事が可能となります。」

私達をアーサーのもとに導いてきたグレート・ブッダも話しかけてきました。

「TAKESHI さん、私達が今日ここに来た目的はこの事です。

あなたに受け取ってもらいたいというのは、この2つの遺伝子なのです。

人類も全く何も無いところから、この2つの遺伝子を作り上げる事はできません。

あなたが、この2つの遺伝子の種をスピリチュアル・レベルで受け取って、21世紀の人々にもたらす事によって、人々の中に、やがてこの遺伝子が芽生え育ってくるのです。

そして、未来の地球人のひな型が出来上がってくるのです。

ここに、一つの箱があります。

この箱の中に大切な遺伝子の種が保存されていますので、これを必要なときに使用してください」

私は、マスター達の間でそのような計画がすでに出来上がっていた事に驚きました。

私が、この2つの遺伝子の種を受け取り、21世紀に持ちかえる事で、これからの人類の遺伝子の構造が変わり、未来に生き残る事ができる人類が生まれ育ってくるという話です。

まるで映画の「ターミネーター」のような話ですね。

おそらくこれも私のスピリットが決めてきた事なのでしょう。

彼らの説明を聞きながら、すでにそのためにはどうしたらよいかと考えています。

「TAKESHIさん、心配しないでください、このために必要な情報は、このエクスガリバーの中にすでにプログラムされています。」  
とってアーサーは剣の形をした水晶を見せながら私に語りかけてきます。

「TAKESHIさんの元には、もうすでにこのエクスガリバーや新たな遺伝子に関わるプログラムを持った水晶が届けられていますので、そこから新たな情報とプログラムを受け取ってください。」

私は、すぐに部屋の中を見渡しました。  
先日届いたばかりの23kの重さがある巨大なクリスタルが目に入ります。  
このクリスタルは、虹の大きさが手のひらサイズもある巨大なミラーを持っているクリスタルで、青や赤の光が満ち溢れていて、私は季節から「クリスマス・ツリー」と呼んでいます。  
確かにこのクリスタルは半端ではないパワーと不思議な力を持っています

そしてもう一つ、本当に平べったくて剣の形をしている透明な巨大クリスタルがあります。  
まさにエクスガリバーと呼ぶにふさわしい形とエネルギーです。

私はアーサーとグレート・ブッダにお願いして、この新しい遺伝子に関わるエネルギーとプログラムを私のスピリットの中に組み込んでもらう事にしました。

私が意識しなくても、この遺伝子を必要とする人が現れた時に、自動的にこのプログラムが発動して、その人に新たな遺伝子の種を差し上げる事ができます。

おそらく私も気づかないかもしれませんが、やがてその人の中で、この遺伝子が芽生え、新たな人類として育っていくのでしょ

う。

そこまでのプログラミングがすむと、グレート・ブッダも安心したようです。

アーサーも満足した様子でにこやかに笑っています。

私は、この遺伝子が芽生え始めると、どのような変化が起こりますかとアーサーに尋ねました。

「もちろん人によってその影響が現れる時

期や内容は異なりますが、いくつかの点を教えておきましょう。

まず、この遺伝子によって頭頂部からエネルギーが入り込むスペースが広がりますので、今以上に高次のエネルギーや大きなエネルギーが、皆さんのスピリットやボディに入りやすくなります。

またその事によって体のバランスやエネルギーが整えられますので、皆さんのパワーが高まります。

皆さんのパワーは目にも表れますので、物事を見抜く力や相手に影響力を与える力も増大していく事でしょう。

そして皆さんのスピリチュアルな羽がさらに広がりますのでスピリチュアルな能力や資質が高まる事も当然起こってきますよ。

勿論、少しずつ皆さんの意識も、変わっていくはずです。」

おそらくこのエネルギーは、新たなライト・ボディのシリーズを生み出す事となるでしょう。

しかしどうしたら多くの人達に、この新たな遺伝子の種を渡していく事ができるでしょうか・・・

きっとマスター達の事ですから次のステップはもうすでに準備されている事でしょう。

最後に私達は、アーサーと共に瞑想し、光をたくさん受け取って私達の時代に帰る事にしました。

## 第2章 未来から来たアメンラーと太陽人種の遺伝子

### PART1 未来から来た太陽人種アメンラーとその遺伝子

再び T クンとのアチューメントの時に、マスターの訪問を受ける事となりました。その時は大天使ミカエルのアチューメントだったのですが、すでに太陽神アメンラーが、私達の事を見守っています。ミカエルのアチューメントが終了すると、私達は太陽神アメンラーの導きの元に、光輝く神殿へと案内されました。

しかしアメンラーといっても、現在ライト・ボディ6のアチューメントで、この宇宙を創造する領域から呼び出しているアメンラー様とは様子が少し異なりようですので、その事について聞いてみました。

「私は、同じアメンラーでもはるかな未来からやってきました。あなた方が、マスターアーサーから2本の遺伝子を受け取った事により、この宇宙の未来も少なからず変わっていく事となりました。私が、ここに現れたのは、私達の時代の宇宙評議会でも重要な決定がなされた事によります。」

私は、前回の1万年後の未来のアーサーと会っただけでも大変な事なのに、それによって地球や宇宙の未来が変わると聞かされて、少し驚いています。でも、未来の宇宙の評議会とは一体何なのでしょうか。

「偉大なるマスターアメンラーよ、あなたに



お会いできた事を私達もうれしく思います。マスターアーサーから受け取った2本の遺伝子については、私達もよくわからないところがあるのですが、その事に関連した事でしょうか？」

「TAKESHIさん、もちろんです。私達は、あなた方が、2本の遺伝子を受け取れるとは思っていなかったもので、評議会で緊急に会議を行い、その後の地球人の遺伝子と遺伝子構造に関しての話し合いがもたれました。」

「マスターよ、まずその評議会とはなんですか。私が今まで出会ったマスター達もその中に含まれていますか？」

「私がいう宇宙評議会とは、今の時代よりもはるか後の未来に存在する評議会ですので、そのメンバーに関しては、あなたはまだ一度も会った事がないと思います。しかし、この時代にも、メンバーや役割は異なりますが、未来の評議会の元となる組織はありますので、そのメンバーとは会っていると思います。」

私は、ユニバースだけでなくさらに広い宇宙であるマルチバースを構成するマスター達を想像してみました。

「それでは、その評議会の中で話し合われた事とはなんですか、私に関係がある事ですか。」

「もちろんです、未来の評議会は、あなたにアーサーから受け取った遺伝子を効果的に活性化するために、さらに高度な遺伝子構造をお渡しする事になりました。それが太陽人種の遺伝子構造なのです。」

私はいきなり太陽人種という言葉が出てきて戸惑いました。

「太陽人種とはなんですか、この地球が属する太陽系の太陽と関係がありますか。」と私は尋ねます。

「太陽人種とは、皆さんの太陽系の太陽のように、いくつもの惑星がその周りを公転しているような恒星に住んでいる種族達の事を指しています。

その中心となる恒星の光やエネルギーによって、それに属する惑星が生存している場合に、その恒星は太陽と呼ばれます。

この天の川銀河にもいくつかの太陽があり太陽人種が住んでいます。

私達は、共に協力しながら、惑星に叡智ある存在達を育てています。

そしてこの宇宙の中で特別な役割を持って活動しています。

太陽人種とは、そのような役割とたくさんの能力を持った人種なのです。」

「そのような太陽人種の遺伝子構造を持った人類を生み出す事があなた方の目的なのですか？」

私はおそろおそろたずねました。

「何万年も先の未来の宇宙には、どのような星にでも適応できる調和された人型の人類が生存しています。

その人種は、太陽人種などのより高い次元の遺伝子構造を持った完全な人類ともいえる存在です。

地球人は、過去にもいくつもの優れた人種の遺伝子を受け取る事で成長してきました。

そしてこの21世紀の時点で太陽人の遺伝子やそのベースとなる構造を地球人のあな

たに渡す事で、予定よりも数万年早く、その完全な人類を生み出す事が可能となるのです。

勿論、その遺伝子構造が今の人類に根づくがどうかはわかりませんし、成功する確立も決して高くはないでしょう。

しかし、今、地球人が太陽人種の遺伝子構造を取り入れる事ができれば、時間や空間を自由に移動したり、どのような物にでも自由に姿を変える事ができるような、優れた人種が生み出されていく進化のプロセスを急速に早める事ができるのです。」

私は、想像もしなかった話に驚きを隠せません。

「それで、そのような人種が生まれてくると、この宇宙はどのように変わるのですか。その人種が生まれてくるメリットはなんですか？」

「そうですね、それらの人種は、この宇宙にとっては、とても意味のある大切な人種となるでしょう。

彼らの愛と叡智は、多くの人々を助け導きます。

彼らが、予定よりも早く生まれる事で、それだけ多くの人種や生命達が助けられ導かれていきますので、この宇宙はより早く愛と調和を持った宇宙へと進化していきます。

この地球の人達のすべてが太陽人種に移り変わる必要はないのです。

たった1人の太陽人種の人が生まれるだけでも、世界は大きく変わってきます。

その人は、多くの生命を愛し癒しに導くでしょう。

そして彼の影響を受けて多くの人達がやが

て進化の道へと進んでいくのです。」

太陽人種というのは、どうも私達の予想をはるかに超えた人種のようにです。

それは、マスターアーサーからもらった「愛の遺伝子」と「環境適応の遺伝子」を更に発展させた存在のようです。

おそらく3万年後の地球の未来には、時間も空間も自由に超える事ができ、自分の姿さえも環境に合わせて変える事ができる人類というものが存在している事になります。

それも、私達が、未来のマスターであるマスターアーサーとアメンラーから特別な遺伝子と遺伝子のベースを受け取る事により、その進化の道が開かれという事です。

勿論、それは私達だけでなく、他の地球の人達も同じようにコンタクトを受け取っているかもしれませんが、彼らが私達に寄せる期待はとても大きそうです。

## PART2 遺伝子のベースとなる物質

私は、太陽種族の遺伝子についてアメンラーに訪ねます。

「太陽種族の様子は、少しは理解できました。しかし、私達は、どのようにその遺伝子や遺伝子ベースを扱えばよいのですか？」

「あなたは、その遺伝子と遺伝子ベースをただ受け取ってください。

そうする事で、あなたの中で、その遺伝子や遺伝子ベースが根づく事ができたなら、その作用は少しずつ広がっていきます。

何かを無理にする事はありませんが、皆さんの意識やエネルギー状態を高めて、この遺伝子達が根つきやすい環境を作る事は大切です。

皆さんが、ライト・ボディのアチューメントを行い、常に祈りをささげてくださる事で、その環境は育ってきます。

そして、もう一つ大切な事は、アーサーによって与えられた2つの遺伝子を保護し活性化する事もできます。

そして、愛と調和の遺伝子が活性化するだけでなく、遺伝子を構成している物質が太陽遺伝子のベースをもとに変容していきます。」

「その変容というものはどのように起こってくるのですか、それは私達にとって安全な物ですか。」

「変容は長い時間をかけて行われます。それは、TAKESHIさんの時代や、あなた達の子供の時代に出来上がるというものではありません。

人類の緩やかな進化に合わせて少しずつ移り変わります。

急速な進化は時々危険な事もありますので、私達は、時間をかけて人類の遺伝子を活性化させ、緩やかに進化させていくつもりです。

人類の遺伝子に太陽種族の遺伝子が入る事により、やがて人間の遺伝子も変わります。人間の肉体的な構造も大きく変わり、人型であるとか動物型であるとかの制限をうけなくなるでしょう。

自分が望むどのような形にも変化する事ができるようになるし、姿を捨ててスピリチュアルな存在としてのみ生きる事もできるようになります。

しかし、それらの変容が現れてくるのは、遠い未来の事ですので心配はしないでください。

ただ、今からその変容の準備は始めなくてはいけないのです。」

「アメンラーよ、先ほどから遺伝子ベースという言葉が出てきていますが、これはどういう意味なのですか。」

「これは遺伝子を構成している DNA などの物質の話です。

DNA（デオキシリボ核酸）の元となる糖というのは、炭素の結合からできているのです。この炭素に、炭素同士の接合を行うリン酸や情報源である塩基が加わっているのですが、この炭素自体は高次元のエネルギーや光には十分には対応しきれていない物質です。

あまりにも高い次元のエネルギーを受け取ると熱を持って熱くなってしまいます。

その為に、炭素のベースをより高次の情報やエネルギーを受け取る事ができるケイ素ベースに変える事が必要です。

ケイ素とはクリスタルの材料ともなるもので、ケイ素ベースの遺伝子は、炭素ベースの遺伝子よりも、はるかに熱に強く非常に高い振動のエネルギーを肉体的にもスピリチュアル的にも保持できるようになります。」

そしてさらに進化していくと、それはダイヤモンドベースの遺伝子構造になります。

ダイヤモンドというのは炭素が特別な形で結合したのですが、この宇宙には、まだ皆さんが知らない鉱物や原子がたくさんあります。

それらのものが、ダイヤモンドの配置を作った時にダイヤモンドベースと呼ばれる遺伝子の基礎を作る事ができるのですが、その鉱物や原子は銀河ごとに違いがあります。

このダイヤモンドベースの遺伝子は、さらに高い波動を保持する事ができると共に肉体をエネルギー状に変化させたり、スピリチュアルな形だけで存在させる事も可能とします。

このダイヤモンドベースを基礎に持つ遺伝子でなければ、空間や時間を自由に移動する事は難しいと思われませんが、皆さんにとっては、まだはるか未来の事です。」

私達は、未来から来たアメンラーの言葉に従って太陽種族の遺伝子と遺伝子ベースを受け取る事となりました。

共に瞑想すると、私達のスピリットとソウル、そして肉体を高次の波動が包み込んでいく事がわかります。

背骨に沿って大きなエネルギーが動いていくようです。

遺伝子といっても、私達にはあまり実感がないのが当然ですが、おそらく私達が、太陽種族の遺伝子を受け入れた事で、地球人の遺伝子にも少しずつ変化が現れるのかもしれませんが。

### PART3 遺伝子の研究所

太陽種族の遺伝子をもらった直後に行われたアチューメントでは、私達は、アメンラーによって遺伝子に関わる秘密の研究所へと導かれる事となりました。

これは純子さんとのアチューメントですが、彼女のアチューメントの時には、いつも何かがかかります。

アメンラーは、私達が何も言わないのに、どんどん空高く上がっていき、私達を一つの建物の前にいざなってくれます。

その建物の中に入ると、中では数名の科学者のような格好をした人達が忙しく働いています。



私達は以前、星のツアーでふたご座に行ったときに、そこで、遺伝子工学に関する研究所を見せられた事がありますので、おそらくここはそのような研究所ではないかと思えます。

「偉大なるアメンラーよ、ここはどこですか。何か、遺伝子工学に関する研究所のように思えますが・・・」と私は尋ねます。

「TAKESHI さん、そうです。ここは、生命達の遺伝子に関わる研究と作業を行うための大切な場所です。」  
「ここはだれの管理の元に運営されているのですか。」

「この研究所は、未来の宇宙評議会の管轄で、人間などの遺伝子に関わる研究が行われていますので、現在は、私とその管理を行っています。」

先日、皆さんに未来のアメンラーが太陽種族の遺伝子とクリスタルベースの遺伝子構造をお渡ししたために、予定よりも早く完全なる人種が生まれてくる可能性が出てきましたので、これからのタイムラインが大きく変わる可能性が高くなりました。

地球にも、新しい遺伝子を持つ子供達がたくさん生まれてくる事となるので、この研究所で遺伝子の配置や構造が研究され、新しい遺伝子に書き換えられたものが、新しい子供達にセットされる事となります。  
私達は、今その作業に追われているのです。」

私は、遺伝子の仕組みについては詳しくは知りませんが、私達が2本の新しい遺伝子や太陽種族の遺伝子を持つ事で、人類の遺伝子にも少なからず変化が起きてくるようです。



勿論、スピリチュアル・レベルのエネルギーが物理的な遺伝子になるには、まだ長い時間がかかるかもしれません。

そのような、悠長とした私の思いを砕くように、アメンラーは言います。

「私達は、急いで新しい遺伝子を準備していますので、皆さん達もその受入れの準備を急いでください。

進化した子供達が生まれてくるので、受け入れる準備が必要なのです。

皆さんが、ライト・ボディのアチューメントや星のツアーなどの活動を通して、新しい進化した子供達が生まれてくる土壌を作らなければならないのです。

そうしなければ、新しい子供達は、十分に育っていく事ができないのです。」

私達が思っていたよりも、事態は急を要するようです。

今まで、地球にもクリスタル・チュードレンやレインボウ・チュードレンと呼ばれる特殊な子供達が生まれてきていますが、その子供達と同じように、ゴールデン・チュードレンと呼ばれる太陽種族の遺伝子の元となる遺伝子を持つ子供達が生まれてくるようです。そしてこの子供達から、さらに子供達が生まれ、遺伝子は成長していきます。

アメンラーは、私達のほうを向き直り真剣なまなざしで語ります。

「宇宙の光のグループは、この時代にいくつもの使命を持って生まれてきましたが、その大切な役目の一つが、新しい人類を生み出していく事です。

その為に、宇宙の光のメンバー達は、この時代に再び集められたのです。

これから皆さんは、外に向けた広がりを持つ

活動を行っていく事となるでしょう。  
どうか、新しい人類を育てるための基盤づくりをしている事を、もっと認識してください。  
あなた方自身の成長や活動が、これからの地球の未来を担っているのです。」

私達は、アメンラーと共に、研究所の様子を見て歩きます。

研究所はとても優しい「愛と調和」の光で満ち溢れています。

ここには、フェアリーをはじめとして愛を生み出す働きをする者達など、とても高い波動をもつ存在達がたくさんいてこの研究所の活動を見守っています。

ここは遺伝子工学の最先端の場所ですが、とても穏やかな光の中で研究がすすめられ、沢山の遺伝子が納められたカプセルの中にさえも、そのエネルギーは満たされて、愛のエネルギーによって生命達が育てられているのです。

私達が、しばらく歩くと美しい図書館も見えてきます。

ここには、遺伝子に関する記憶や実験データがたくさん保存されているようです。

更に上に上がっていくと、まるでパラポラ・アンテナのような装置も見えてきます。

ここは、宇宙の隅々から遺伝子に関わる情報が集められる場所であり、優れた遺伝子の情報が伝わると、その遺伝子を採取して研究する事もあるようです。

素晴らしい遺伝子や存続が危ぶまれ遺伝子は、メンバー達が直接出向き、その遺伝子を採取するようです。

私達は、又異なる部屋に案内されました。  
そこには、地球で見る生命とはかなり異なり

ますが、人間を癒したりサポートするための動物達を作り出すための部屋の様です。これから地球の子供達が進化していきますが、その子供達を守るための動物なども生み出されていくようです。

一つは、私達がテトと呼んでいるキツネリスのような動物もいます。

ちょうど風の谷のナウシカに出てくるような動物です。

いつもナウシカの肩の上に乗って彼女を守っているかわいい動物ですね。

そのような動物達も、地球の子供達のエネルギーを守護するために生み出されてきます。私達は、そこまで見て回ると時間が来たので、アメンラーにお礼を言って地球に帰る事にしました。

補足 DNA の構成物質 参照  
<http://www.mls.sci.hiroshima-u.ac.jp/smg/education/DNA.html>

## ODNA の構造について

DNA とは、**デオキシリボ核酸 (Deoxyribo Nucleic Acid)** を省略した名前で、その構造は下の図のように2本の鎖がお互いに絡まりあったような構造をしています。

しかもこの配列は規則正しく螺旋（らせん）状になっており、前進するにつれて右巻き（時計回り）に回るようになっていきます。

2本の鎖が螺旋（らせん）状になっているので、この構造を”**二重らせん構造**”と言います。

## ODNA を構成する原子について

二重らせん構造の各々の鎖は、ヌクレオチドと呼ばれる単位の繰り返しになっていて、そ

のヌクレオチドは、糖・リン酸・塩基の3つの成分で構成されています。」



糖は、デオキシリボースと呼ばれる5つの炭素を使った糖（五炭糖）から成り立っています。

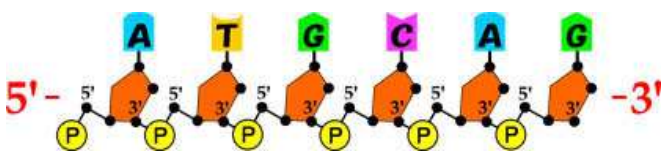
上の図では炭素の位置が黒丸で示されており、それぞれの炭素には 1'~5'までの番号が付けられています。

そして、リン酸が2つの糖を 5'と 3'の位置で結び付ける事で DNA の各々の鎖の背骨が出来上がっています」

塩基は、DNA の機能において最も重要な部分で、DNA の塩基にはアデニン(A)・チミン(T)・グアニン(G)・シトシン(C)の4種類あり、それぞれ糖の 1'の位置に結合しています。

そしてDNA の各々の鎖は、下の図のように構成されています。

さらに、DNA の鎖には方向があって、糖の 5'の炭素が向いている方向を 5'側、3'の炭素が向いている方向を 3'側と呼ぶ事になっています」

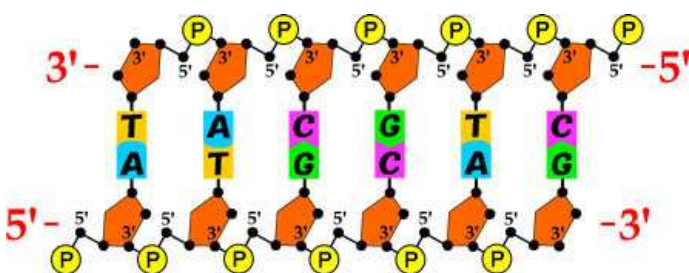


## ODNA の 2 本の螺旋の組み合わせ。

DNA の 2 本の鎖は、これら 4 種類の塩基によって結合しています。

しかも、必ず A と T あるいは G と C がペアになって結合しており、このペアを塩基対と呼びます。

そして2本の鎖は逆向きに並んでいるとい  
るので一方の鎖は左側が 5'側で右側が 3'側、  
もう一方の鎖は逆に右側が 5'側で左側が 3'  
になっています。



### ○遺伝子の働き

DNA 上には、生物の体の構築や生命活動に  
必要なタンパク質などを作るための設計図  
がたくさん書いてあります。 この設計  
図の部分の事を遺伝子といいます。

### ○ダイヤモンドの構造

ダイヤモンドの硬さは、炭素原子同士が作る  
共有結合に由来する。ダイヤモンドでは 1  
つの炭素原子が正四面体の中心にあるとす  
ると、最近接の炭素原子はその四面体の頂点  
上に存在する。頂点上の炭素原子それぞれが  
sp<sup>3</sup> 混成軌道によって結合しており、幾何  
的に理想的な角度であるため全く歪みが無  
い。その結合長は 1.54 Å である。この結晶  
構造を持つダイヤを立方晶ダイヤとよぶ。

## 第3章 遺伝子を受け取るための未来への旅

### PART1 1万年後の未来へ

私達は、1万年後の未来から来たマスターアーサーと4万年後の未来から来たマスターアメンラーに、これから地球の人類の遺伝子を大きく変えるであろうと思われる重大な遺伝子を受け取る事となりました。

しかし、私達の中には、まだまだ不安があります。

そこで私達は、星のツアーで多くのメンバーと共に、未来へと行く事にしました。

最初、私がこの遺伝子に関わる概要の話をした後に「アディティーヤの創造主の神殿」へと昇り、マスターアーサーを出迎えます。アーサーは中世の騎士のような格好で現れます。(やはり、彼はアーサー王のスタイルが好きみたいです。)

私達は、アーサーに感謝の言葉を述べ、未来へと連れて行ってもらう事にしました。

私達は、アーサーを伴ってフェニックス号に乗り込みます。

フェニックス号は、時間を抜けるために光のトンネルへと入りどんどんすすんでいきます。

光を抜けた先には、星々がきらめき、美しい宇宙が広がっています。

フェニックス号はその宇宙の中の一つの星の中に吸い込まれるように入っていきます。1万年後の地球です。

私達は、星の地表からフェニックス号と共に地下の通路に入っていくと、宇宙船の発着場のような場所に着きます。

私達は、フェニックス号を降り、エレベーターに乗って下に降り、地下都市の中心部に向かいます。

中心部につくと大きな部屋に案内されます。今日は、宇宙の光のメンバーが20数名と天の川銀河連合の騎士団やマスター達もかなりたくさん参加しています。

その部屋の中央部には大きなクリスタルがあり、四方には黒水晶が置かれ、部屋の大気や波動の調整を行っているようです。

もしかしたらここは、ビジター専用の場所として、シールドを張るなどの特別な設定がしてあるのかもしれませんが。

私達の前に、マスターアーサーと共に未来のグレート・イエス様と未来の魔法使いマーリンが現れます。

私達は未来のマスター達に挨拶をするとともに、この場所について尋ねてみました。

「未来のマスター達よ、私達をむかえてくださって大変ありがとうございます。

私達の事を長いあいだ見守り、そして人類の進化をサポートしてくださり心から感謝いたします。」

「いえ、皆さんの勇気ある行動こそが、人類の進化の礎となるのです。

皆さん達が、私達に心を開き、私達を受け入れてくださったからこそ、地球は新たな人類を生み出す準備ができるようになりました。そして、地球の人類が進化する事で、この宇宙もより良いものとなる事ができるのです。」

「この場所は、どのような場所か教えていた



だけますか？」と私はたずねます。

「この場所は、地球以外の星から来る人々のための宇宙船の発着場であり会議室を備えたビジターセンターです。

この地球で活躍するマスター達と他の星の人々、そして地球人達が、様々な問題やお互いの交流について会議を行います。

本来地球人は、ここよりももっと深い地底で暮らしていますので、特定の人しかここに来る事はできません。」

確かにそのようです。

ここにいる地球人達は防御服のようなものを身に着けて活動しています。

次に、私達は未来のグレート・イエスから、この未来の遺伝子や私達の活動について詳細なメッセージをいただく事にしました。

## PART2 皆さんが作る未来—グレート・イエスからのメッセージ

私、グレート・イエスだけでなくグレート・マリア、魔法使いマーリンも、この地球の未来を担う大切なメンバーに心から感謝いたします。

たくさんのメンバー達が地球を愛し地球の未来を考え、輝く未来を創るために、努力してくれた事を心から感謝しております。

かつて遠い昔の時代、私達は約束を持って生まれてきました。

レムリアやレムリアをはるかに遡るアンドロメダ文明の時代から、あなた方はこの地球に生まれ、そして地球の進化のために常に働いてきました。

あなた方は現在、人間として生きています。



そしてあなた方は、自分の仕事を持ちながら、この活動に参加されています。

普通の社会人として生活しているあなたは、偉大な政治家や宗教家でもありませんので、自分の存在をそれほど大きく感じていないかもしれません。

きっと人類の進化を自分達が担っているといわれても、「こんな自分にそんな大変な事ができるはずがない。」と思われる事でしょう。

しかしながらあなた方のスピリットの働きはとても偉大なものです。

あなた方のスピリットはこの地球のとても大きな進化と未来を担っているのです。

普通の人には理解できないかもしれませんが、皆さんが行っている事はこの地球にとってとても大切な事です。

この地球にとってなくてはならない活動である事を、どうか理解してください。

この未来は決まったものではなく、多くの人の行動でどのようにも変わる可能性を持っています。

どのような世界になったとしても、その世界がいい、悪いという判断は、私達は行いません。

そのときの人々が望む世界へと移り変わっていただけなのです。

しかしながら地球に住む人々の意向とは別に、宇宙の評議会やマスターによってつくられるグループは理想的な宇宙を目指して努力をしています。

あなた方の行いや思いによってこの宇宙は大きく変わりますが、あなた方の思いと行動をより適切なものに導きながら理想的な未来を創っていくのが私達の仕事です。

マスターアーサーは古い時代から、地球をととも大切に思い、面倒を見てくれました。私やブッタ、マーリンは、あなた方にとって親しみやすい名前と呼ばれています。

それは私達がかつて地球に降りた事があるからです。

私達が、地球に降りたときは TAKESHI さんと同じように通常の間人として降り、すべての記憶を失くします。

しかし、そのときにアーサーは、私、イエスやブッタ、マーリンを導き、私達の本当の姿であるスピリットを思い出させ、私達が持っている本来の能力と資質を目覚めさせてくれました。

そして他のマスター達と協力しながら、この地球がより良い進化を遂げるために様々な努力を行ってくれたのです。

TAKESHI さんと宇宙の光のグループに対して、宇宙におけるすべてのマスター達、創造主達が大きな力を貸しているのもそのためです。

あなた方を通して、この地球や天の川銀河がより良い世界へと向かう事を願っているからです。

もちろん現実世界では余り変わっていないように見えるかもしれませんが。

しかし、スピリチュアルな世界では大きな変化が起こっています。

既に皆さんの活動は10年近くたちますが、最初から私達は最後の目的を見据えて導いてきました。

幸いな事に皆さんの活動は中断される事なく、私達の目的にどんどん近づいてきていますので、私達もとてもうれしく思います。

私達は、多くのグループを指導していますが、ほとんどのグループは挫折したり、違う方向に行きエゴ、支配欲にまみれたグループになりました。

多くの宗教家達もそうです。

純粋性を保ち、支配欲から離れた活動をしているグループは、本当に稀です。

今回、一万年後の未来の地球に来る事ができたグループは限られています。

個人で言うならば瞑想や精神的に優れた人は時々この世界に来る事があります。

しかしながらグループで来る事は大変珍しい事です。

ましてや、天の川銀河を統制した人々がここに来てくださる事は予想もしていませんでした。

宇宙の光のメンバー達だけではなく周りにもいるマスター、騎士団は一万年後の世界でも活躍しています。

この宇宙で、あなた方の一万年後の姿を見いだせるかもしれません。

もしくは、この宇宙と並行して存在している別の地球であるマスターの世界へと行っている人もたくさんいるかもしれません。

しかし彼らに、共通して言える事は、地球の未来の人類を導き新たな人類が生まれるように活動をしている事です。

しかし、ここもまだ旅の途中です。

ここから未来には、さらに素晴らしい世界が待っている事でしょう。

あなた方人類も、さらに素晴らしい人類へと進化して、より完全なる姿を見せてくれるかもしれません。

しかし、その旅の途中に私達がいるという事、ここで新たな遺伝子を、21世紀の地球に持

ち帰った事をよく覚えていてください。  
これから起こる未来は、本当にあなた方が創  
る未来なのです。

### PART3 愛と環境適応の遺伝子をいた く

私達は、グレート・イエスの真摯な言葉に耳  
を傾けています。

私達の時代のグレート・イエスもこの時代の  
グレート・イエスもその純粹で真面目なエネ  
ルギーは同じです。

私達は、これから、マスターアーサーによっ  
て新たな2本の遺伝子をいただく事となり  
ました。

私達は広間で、目を閉じ瞑想状態に入ります。

おおきなエネルギーが、私達の体を包みます。  
特に、首から背中にかけてエネルギーが走り  
ます。

この場所は、スピリチュアルなDNAが存在  
するところです。

私達は、首から背中にかけてとても刺激的な  
エネルギーを受けとります。

そして、そのエネルギーはやがて私達の脳の中  
に入り、脳の働きをどんどん活性化してい  
きます。

遺伝子は、まずスピリチュアルな形で、私達  
の中に入って行くようです。

私はそれを、遺伝子の種（ライトコード）と  
呼んでいます。

肉体的な遺伝子に取り込まれ、人間の本来の  
資質となるためには、幾世代もの交配と長い  
時間がかかります。

しかし、スピリットの中に、その遺伝子の種

が入るだけでも、その人の精神状態や能力は少しずつ変わっていくようです。

私達のメンバーも天の川銀河連合のメンバー達も、2本の遺伝子をしっかりと受け取ったようです。

私達は、マスターアーサー達のお礼を言って次の世界に行く事にしました。

## PART4 4万年後の世界と宇宙評議会

私達は、この1万年後の世界に、4万年後のマスターである、マスターアメンラーを呼び出しました。

アメンラーは、私達が4万年後の未来の地球に行く事に同意してくれました。

私達は再びフェニックス号に乗って、未来へと出かける事になりました。

未来への旅は、グレート・イエスやマーリン達も一緒に行く事になりました。

もしかしたら、フェニックス号の中で、21世紀のマーリンやイエスと1万年後の彼らが会話していたかもしれません。

私達がフェニックス号に乗り込むと、フェニックス号は、1万年後の地球を飛び立ち、再び時間のトンネルの中に入りました。

様々な光が交差し、通り過ぎていきます。

しばらく時間がかかりそうですので、しばらく先ほど受け取ったエネルギーの調性を行います。

やがて、フェニックス号の船長が、目的の時間についての事を知らせてくれます。

マスターアメンラーの指示により、まず宇宙評議会へ向かう事となりました。

宇宙評議会の場所は、ちょっと不思議な場所です。

星の上のような、あるいは宇宙空間のような場所に私達のフェニックス号はつきました。

「アメンラーよ、ここはどのような場所になっているのですか、教えてください。」

「ここは、あなた方の言葉でいうならば、宇宙基地です。

しかもとても大きな基地ですので、この基地自体が星のように見えるかもしれません。」

私達のフェニックス号は、宇宙基地の発着場につきました。

まわりには、いくつかの宇宙船も止まっています。

おそらく私達が理解しやすいように、私達の想像上の宇宙船のような姿で停泊していますが、本当の姿はどうなっているのでしょうか。

私達は、フェニックス号を降りて基地の中に入ります。

基地の入口の近くには、サロンや休息場所、食堂などがあるようです。

まるで「スターウォーズ」の映画に出てきそうな宇宙人達が、くつろいでいます。

やがて、私達は基地の通路を抜けて、宇宙評議会の会議室へとたどり着きました。

マスターアメンラーが、恭しく部屋の扉を開けると、その中には数名のマスターが待っています。

奥にいる代表を中心として数名のマスター達が座っています。

私達の前にはマントを羽織ったリーダー格のようなマスターが立っています。

私は、丁寧にあいさつを述べます。

「偉大なる未来の宇宙評議会の皆様、私どもをこの場所に導いてくださり心から感謝いたします。

偉大なるマスターアメンラーの導きにより、地球の人類は新たな意識進化の道に進む事ができそうです。

私達にどれだけの事ができるかわかりませんが、皆様のご協力を得て、地球の人類がより良い方向に進化し、宇宙に貢献できるように努力いたしますので、これからもお導きください。」

私達の前に立つリーダーも、私達に一礼をすると喜びの言葉を伝えてくれます。

「偉大なる21世紀の地球と天の川銀河のマスターよ、皆さんがこの世界に来てくれた事を心から嬉しく思います。

皆さんが、今の私達の世界をみて、みなさの世界がどのような方向で発展していけばよいか理解してくださるとうれしく思います。

それでは TAKESHI さん、宇宙評議会の代表であるマスターが、あなた達と話をなさるようです。

あなたのハートとクラウンチャクラを少し活性化させて、マスターの話を受け止める事ができるようにしてください。」

リーダーの言葉が終わらないうちに私のハートとクラウンチャクラに大きなエネルギーが入ってきます。

私達は、4万年後のマスターから貴重なメッセージをいただく事となりました。

## PART5 次元と時間を自由に移動できる能力について—宇宙評議会の長老のメッセージ

偉大なる地球の人々よ、あなた方がここに来られた事、そしてはるかな先祖である皆様に出会えた事を心から嬉しく思います。

私達はかつて地球、アンドロメダ銀河、オリオン星雲にも存在した事がございますので、あなた方の事も、地球や天の川銀河の事もよく知っています。

21世紀にもスピリットとして既に存在していました。

皆さんとは、直接関わっておりませんでした。が、ユニバーサル・パレスやあなた方の活動の中にも時折顔を出しておりました。

その時はあなた方がどれだけ本心から誠意をもって活動を行っているか常に見守っていました。

私は、あまり表には出ませんでした。が、常にあなた方の真摯な姿、一生懸命に多くの仲間達と努力をしながら活動をしている姿を常に尊敬の気持ちをもって観ていました。

天の川銀河やユニバースにも、その頃、この宇宙評議会の元となるグループが存在しつつありました。

やがては、あなたが組織した天の川銀河連合とも協力をおこなっていく事となるでしょう。

そのグループは、あなた方がよく知っているアシュタール連合と同じような組織を持つグループです。

アシュタール達が平和な世界をつくる事を目的としている事と同じように、私達のグループも、叡智ある存在を育て、宇宙を進化させていく目的で活動しています。



私達自身は、より高次の遺伝子や遺伝子構造を持ち、通常のマスターや通常の天使達では実現できない能力をもって活動をしています。

そしてその能力を分かち合う人々を探し、能力や大切な知識を分かち合い育てているのです。

私達は宇宙の次元を自由に行き来する事ができます。

私達が存在している次元、今いる次元は人類の叡智ある進化を目的にした宇宙といっても良いと思います。

またこのタイムラインとは 別に偉大なるマスターの世界、マスターや女神達が学びの場として成長している宇宙もあります。

またフェアリーやホビット達が仲よく暮らしている宇宙もあります。

このような幾つもの宇宙が交差しあって多次元世界が生まれ、そこから新しい宇宙ができるのです。

しかし、あなた自身が多次元の扉、通路となっていますから、あなたが存在している宇宙ではマスターやフェアリー、ホビット、ユニコーン達が すべてが同時に存在できるのです。

彼らの存在しているいくつもの次元が、あなたの能力により一つにつながり、ひとつの世界に同時に存在しています。

あなたが、ここに来てくれた事により、今、この宇宙も幾つもの多次元が交差しています。

あなたが存在している宇宙そのものが多次元構造となっていますから、マスター達が中心になっている世界、フェアリー達が中心に

なっている世界、地底世界の間人間が中心となっている世界、残念ながら荒れ果てた世界などいくつかの世界が、同じタイムライン上でつながり、あなた方は自由に行き来できるようになるのです。

多くのメンバーが、ダイヤモンドの遺伝子構造をまだ身に着けていないので、自分達だけで移動するのは不可能ですが、TAKESHIさんと一緒ならばどの次元や時間にも行く事ができます。

フェニックス号は、TAKESHIさんの次元と時間を自由に移動できる能力をもとにこの宇宙を旅します。

通常生命を持つ者達は、次元や時間の移動に関しての制限を持ちます。

その制限とは、生きている生命は、単独の次元に留まり、他の次元には自由に移動できないという事です。

TAKESHIさんのように宇宙の中を自由に行き来できる能力、これはこの宇宙においてはとても稀な能力です。

この能力は、かつて多くのマスター達と協力して一つの目的のためにつくられたパワーによって実現しました。

その目的とは宇宙の創造です。

宇宙の創造のために異なる多次元の世界を一つの世界に引き寄せさせる事が必要でした。

いくつかの次元が一つになる事で初めて物理的な宇宙が生まれてくるのです。

それは、基本的に創造主の能力ですが、あなたはこの経験を通してその事を学んで行っています。

あなたがこの次元と時間を自由に行き来できる遺伝子を持つ事は、あなたの中にある遺

伝子を必要としている世界に、この遺伝子構造をもたらす事ができるという事にもなります。

それはこの天の川銀河やユニバースにとって、とても大きな影響をもたらします。

あなたがこれからマルチバースにおいて新たな宇宙の創造を行いますが、あなたの中にあるたくさんの次元が一つにつながり素晴らしい世界が生まれてくる事でしょう。

あなたは今までに、いくつもの困難な問題をのりこえて、自分の能力をさらに高め、予定よりも早くこの場所に来る事ができました。私達はその事をとても嬉しく思っています。どうかこれからも自信を持って活動してください。

そしてあなただけではなく、共に来たメンバー、天の川銀河連合の勇敢なる騎士団、叡智のマスター、魔法使い達にも太陽種族としての遺伝子や新たなる遺伝子のダイヤモンドベース、クリスタルベースの設計図を差し上げましょう。

クリスタルからダイヤモンドへと時間はかかっても移り変わっていく事を心から願っています。

あなた方の遺伝子がクリスタルベースからダイヤモンドに変わるとき、あなたのスピリットはとても大きな変化を起こします。

時と空間を超える事はダイヤモンドベースのスピリット達が行える事です。

しかしながら TAKESH さんの宇宙の中で既にダイヤモンドベースの力を発揮する事ができたという事は、完全なる人種のひな形が出来上がっていると言えます。

あなた方の力がさらに発展していった時に、ダイヤモンドベースの遺伝子の完全なる能力と資質に目覚めるでしょう。

それは、現在、皆さんが生きている時間ではなく、とても長い時間の後に起こる事でもあります。完全なる人類へと進化するために、今から始めなくてはならない事なのです。

今、この未来の時代にも皆さんは生きています。

あなたの心を澄ませば、あなたがこの時代に生きている姿が、あなたのハートの中に映し出されるでしょう。

あなたが、4万年後の世界で偉大なるマスターとして生きている様子を垣間見てください。

あなた方のスピリットは素晴らしいものに成長しているのです。

大きな羽を広げ飛ぶ大天使になっていたり、偉大なる教えを導く者、創造主に近い者、創造主と祈りを分かち合うもの、勇敢なる騎士団の団長として平和を守るために闘っている者もあるかもしれません。

皆さんの人生はそれぞれですが、皆さんのスピリットの本当の力を目覚めさせてください。

私達は自分のハートに大きな感動を覚えながらマスターの話を聞いていました。

## PART5 太陽種族の遺伝子をいただく

私達は、マスターの言葉に静かに耳を傾け、マスターの話が終わった後も沈黙していました。

宇宙評議会のリーダーであるマスタークラウンが話しかけます。

「皆さん、私達の偉大な長老の言葉に耳を傾けてくださって大変ありがとうございます。長老も、皆さんとお会いできた事を心から嬉しく思っています。

さてそれでは、太陽種族の遺伝子と遺伝子ベースを皆さんにお渡しする事にしましょう。では準備をしてください。

私達の評議会のメンバーを中心に丸く円を描いて座ってください。」

私達は、長老の正面に私達が座り、評議会のメンバーを取り囲むように幾重にも円を描いて座ります。

私達は、瞑想に入ります。

とても柔らかく美しいエネルギーがその空間を満たしていきます。

私達の心とスピリットにしみいるような愛に満ちたエネルギーです。

私達は、しばらくの間そのエネルギーと共に居ました。

私達の体の深い部分に響くようなエネルギーです。

このエネルギーは、その時はまだよくわからなかったのですが、次の日の目覚めの時など、しばらくの間、体の中を調整するようなエネルギーを送り続けてきたのです。

私達は、太陽種族の遺伝子と遺伝子ベースを受け取ると、長老と評議会のメンバーに別れを告げ、フェニックス号と共に21世紀の地球へと戻ってきました。

## 第4章 隠された月と太陽の 目覚め

### PART1 隠された月へのコンタクト

私達は今夜の星のツアーでやらなければならない事がもう一つあります。

それは、美緒さんとのアチューメントの時に出てきた「隠された月」です。

これは彼女達が、ライト・ボディの相互アチューメントを行っているときに出てきたテーマで、どうも未来の宇宙と深く関わっているようです。

私達は、その時ライト・ボディの5番目である「セントラル・サンとセントラル・ムーン」のアチューメントを行っていましたので、この隠された月と太陽の話とも深い関係がありそうです。

私は、ライト・ボディのアチューメントのエネルギーを美緒さんに渡し終わると、セントラル・サンに、この隠された月と太陽の事をきいてみました。

「偉大なるセントラル・サンよ、彼女達がアチューメントを行っているときに見た「隠された月」というのはなんですか。」

セントラル・サンが私達に答えます。

「その問題は、とても大切な意味があります。皆さんがこれから、新たな遺伝子を受け取って進化していくときに、この月はとても大切な役目をします。

今はまだ、隠されて目覚めていませんが、なるべく早く目覚めさせていかなければならないでしょう。

そして月と同じように隠された太陽も目覚めさせる事が必要です。」

私と美緒さんはその言葉を聞くと、セントラル・サンと共に「隠された月」の元に行く事となりました。

私達は、光の中をどんどん上がっていくと、何か真っ黒の消し炭に覆われたような月があります。

私は、この隠された月にどのようにアプローチしていけばよいか、セントラル・サンに尋ねます。

「この月を目覚めさせる為には、今以上に進化した太陽種族の遺伝子を持つメンバー達が数名集まる事が必要です。

その遺伝子とこの月は連動しているのです。」

私は、とりあえず私のハートの中から光を贈ります。

セントラル・サンやムーンも一緒に光を送ると、消し炭の黒い中心がほのかに光ります。そして周りの黒いエネルギーも少しずつ溶けていくようです。

私は、この消し炭の中に光がともし始めたところを見計らって、中にいる存在とコンタクトを試みました。

中には、どうやら月の女神がいるようです。彼女は、私達がこの時代に太陽種族の遺伝子を手に入れた事を知っているようです。更にたくさんのメンバーで光を送る事により、彼女の目覚めは起こりそうです。

この後、隠された太陽のほうも見にいきましたが、思った以上に巨大でパワフルな感じがしますが、どうも巨大で堅固な黒水晶のようなものに閉ざされている感じがします。

私達は、今夜の星のツアーで、この隠された太陽の秘密を解き明かす事にしました。

私達は、星のツアーで太陽種族の遺伝子をいただいた後、再び隠された月と隠された太陽を訪れる事にしました。

今回は、太陽種族の遺伝子を持つメンバーが20名以上いますので、隠された月もさらに反応を示してくれるはずです。

お昼の時と同じように隠された月の前に私達は立っています。

私はまず、この隠された月を守護するマスターを呼ぶ事にしました。

私達が祈り始めると、美しい月の女神が現れました。

私は今回は、同じ女性である美緒さんにこの場を任せる事にしました。

私には、この場所は神聖なる女性達の場のように思えたからです。

美緒さんは、月の女神とコンタクトを取ります。

この場に現れた女神は、まるで隠された月の女神の母親であるかのように、月に向かって語りかけます。

隠された月の女神の名前は、ダイアナという名前みたいです。

美緒さんのハートから、女神の言葉がこぼれ落ちてきます。

「わがいとしい娘、ダイアナよ、あなたが目覚めるときが来たのです。

あなたと共に歩む者達もここに集まっています。

あなたの瞳を開き、あなたの心の鼓動を打ちならしなさい。」



女神と共に、宇宙の光の女性メンバー達も、隠された月に光を送ります。

月の女神の母性がとても大きなエネルギーとなって、その娘ダイアナを包み込みます。その母性のエネルギーは、宇宙の光のメンバーも巻き込んで、どんどん大きくなっていきます。

隠された月の女神、ダイアナが目覚めの時がやってきたようです。

勿論この月は女神が目覚めただけでは十分な働きをする事はできないようです。

女神と私達、そしてさらに多くの女性達の祈りと光が、この月を育てていくのです。

しかし、今まで長い間、眠りについていた月の女神は、今その目覚めの時を待っているようです。

私は、その様子を見守りながら、この隠された月の役目を考えています。

セントラル・サンが私の近くに来てささやきます。

「TAKESHI さん、隠された月は隠された太陽が目覚めえるためにはどうしても必要な存在です。

あなたが初めて、私のところを訪れた時もそうでしたね。

あなた方はまず、セントラル・ムーンの元に降り立ち、私の元に来るための準備を行いました。

それと同じように、いえ、それ以上に、この隠された月の存在は、皆さんにとっても、また隠された太陽にとっても重要なものがあるのです。

そして、隠された月は、これからの宇宙においても大切な女性性を担っていく事になります。

女性性とは、子供を産み育てていく大切な母性の力です。

あなた方が受け取った遺伝子も、この月の母性の力がなければ育ちませんし、後の時代に受け継がれる事もないのです。

隠された月は、皆さんのスピリットの成長にとっても大切な役目をしますし、皆さんの中の女性性や男性性を統合するためにもなくてはならない存在です。」

私は女性メンバー達の祈りの声を聴きながら、私の心の中でダイアナに呼びかけます。

「偉大なる月の女神、ダイアナよ、あなたの目覚めを待っています。

私達の未来とこの宇宙の進化にとって、あなたはなくてはならない存在です。

私達が、太陽種族の遺伝子を成長させるためにも、どうか目覚めて私達に力を貸してください。」

消し炭のように光を閉ざされた黒き月の内部がほのかに輝いてきました。

ダイアナの鼓動が、私達のハートの中に響いてきます。

風が漆黒の月の内部に流れ込んでいきます。私達の祈りが、月の内部に広がっていきます。そして、月の女神ダイアナの声が、私達の内側に伝わってきます。

美緒さんが変わって葵さんが、ダイアナの声を伝えていきます。

「皆さんの祈りが、私の心に響いてきました。私が、目をさまし再び輝きを取り戻す時が来たようです。

皆さんの愛が、私の心を揺り動かし私を目覚めさせてくれたのです。」

メンバー達と月の女神ダイアナをつなぐエ

エネルギーが、力強いものになってきました。  
ダイアナが応えてくれたのです。

ダイアナの息吹、ダイアナの思いが、そのエネルギーのつながりを通して、私達に伝わってきます。

ダイアナのお母さんも喜んでいます。

しかしこれからです、女性達の継続的な愛の祈りを続けていかないと、この隠された月の女神は、再び眠りについてしまうでしょう。

## PART2 隠された太陽を守護するグランド・サン

私達は、隠された月が目覚め始めた事を確認して、次の隠された太陽の元へと急ぎます。今夜の星のツアーは、もうこの時点で3時間を超えており、スピリットで旅するにはかなりの負担がかかっているからです。

私達は、セントラル・サンの導きで、隠された太陽の元へたどり着きました。

太陽は、月と違って固い水晶のような鉱物でしっかりおおわれていました。

黒水晶の漆黒が、どんな光でも跳ね返してしまいそうなくらいしっかりと太陽を覆い隠しています。

さて、どうしたらこの黒水晶の中にいる太陽を目覚めさせる事ができるのか、私は思案しました。

私はまず、この太陽を守護しているマスターがいないかどうか呼び出してみる事にしました。

「この隠された太陽を守護する偉大なるマスターよ、どうか私達の元に現れてください。隠された太陽を目覚めさせる為に、私達に力

を貸してください。」

私達が祈っていると、とても大きな姿をしたマスターが現れてきます。

そのあまりの大きさに驚いた私達は、どうか私達と同じくらいの姿で現れてくださいとお願いしました。

すると、大きい事に変わりはないのですが、私達と視線が合う程度までの大きさで現れてきました。

「偉大なるマスターよ、私達の元に現れてくださって大変ありがとうございます。

私達は、隠された月と隠された太陽を目覚めさせる為にやってきました。

私達地球人の進化と成長のために、この月と太陽の力が必要であると教えられたからです。

私達が、太陽種族の遺伝子を引き継ぎ、それを成長させるためにも、月と太陽を目覚めさせていたいただきたいのですが、お願いできませんでしょうか。」

太陽を守護するマスターは、あまりしゃべろうとしないが、そのエネルギーで私達を歓迎している様子が伝わってきます。

「偉大なるマスターよ、この太陽を目覚めさせる為にはどうしたらよいですか。

この固い物質に閉じ込められた太陽に、どうしたら私達の気持ちと光が伝わるのでしょうか？」

マスターは、私達を見てゆっくりと答えます。

「私も、あなたが来る事を待っていました。まずこの太陽に、どこか一か所でもよいので穴をあけ、光の通路を作らなければならない

のだが、あまり無理に穴をあけようとしても、太陽のエネルギーを傷つける事になってしまう。」

「分かりました、それでは魔法使い達に相談してみましょう。」

私は、ウィザード・エンソフをはじめ宇宙の魔法使いやマーリン達を呼び出し相談しました。

ウィザード・エンソフ達は、神聖幾何学を利用して、光の通路を太陽に作る事を提案してきました。

私も、エンソフに同意すると、エンソフは魔法使いやマスターを集め、何か指示を出しています。

しばらくすると、魔法使いとマスター達が一斉に、太陽に向かって飛び立ち、太陽を複雑な形の神聖幾何学で包み込み始めました。

太陽を包む黒水晶に、幾筋もの光が走り、黒水晶が様々な光でたらされていきます。

やがてその光が、一か所に集まり始め、光が黒水晶を溶かしていくような様子が、私達の目に移ります。

そして、そこに集められた光が、ゆっくりと黒水晶の内部へと入り始め、黒水晶が通路に沿って、内側から輝き始めます。

その様子を見守っていた、マスターはその開いてきた通路の中に、自分の杖をかざすようにして光をおくります。

真白の杖から、白い光がはなたれ、その光は隠された月の太陽の内側へと進んでいきます。

私達も、魔法使いや騎士団と共に、太陽に向かって光を送ります。

私達の光が、太陽の内部に届き始める頃を見

計らって、私達は、太陽の内部に入る事にしました。

魔法使いが開いてくれた通路から、私達は太陽の内部へと入ると、そこには十分に目覚めきれない太陽のマスターの意識があります。

私は太陽の意識とハートの光をつなぎます。太陽はまだ、小さな子供のようで、十分に会話はできないようです。

私は、先ほど目覚めさせた「隠された月の女神ダイアナ」の意識をここによびだします。ダイアナの意識も、目覚めたばかりですが、太陽の意識と、私達には理解できない形でコンタクトを行っているようで、時折太陽の意識が反応している様子がわかります。

私達はその様子を見守っていると、太陽を守護するマスターが話しかけてきます。

「この太陽を目覚めさせるきっかけをいただいた事に、私達は深く感謝します。

この月と太陽は、皆さんが新たな進化の過程に入られた時に現れる事となっていたのです。

もし、皆さんが、太陽種族の遺伝子をもらう事がなかったり、未来のアーサーに会う事がなかったなら、この月と太陽はまだ隠されたままでいた事でしょう。

この月と太陽は、皆さんの進化の過程をサポートすると共に、新たな未来の宇宙を創り出すためには、なくてはならないものです。

今はまだ未来の事について多くを語る時期ではありませんが、どうか皆さんお力でこの月と太陽を育ててください。

時折ここにきて、私の事を呼び出していただければ、私もすぐにここにきて、太陽が目覚めていく事を助けますので、よろしく願いします。」

私も、マスターを振り返り、「偉大なる太陽のマスターよ、あなたのご厚意に深く感謝します。

ところで、あなたは、どのような存在なのですか、教えていただけませんか？」と尋ねます。

マスターはにこやかにほほ笑んでいます。おそらく彼の存在は、私達にはまだ理解ができない領域にあるのかもしれませんが。

その様子を見たセントラル・サンが私達の元に近寄ってきました。

「TAKESHIさん、こちらのマスターは、私とセントラル・ムーンを生み出したマスターです。

この宇宙の中でも、とても古く尊厳のあるマスターです。

やがて、あなたにも彼の秘密が明かされる時が来る事でしょう。

それまでは、グランド・サンと呼んであげてください。」

グランド・サン・・・おじいちゃん太陽、本当に言葉数も少ないマスターですが、とても信頼感のある偉大なマスターである事に間違いはないようです。

私達は、再開を約束してお別れする事となりました。

## 第5章 1万年後の天の川銀

### 河の異変

#### PART1 1万年後の地球へ

この日は夜のクラスの星のツアーが開催されました。

私達がアディティヤの地球における創造主の神殿に入るとたくさんのマスター達が勢ぞろいして、とても大きな緊迫感がみなぎっています。

そのただならぬ雰囲気、私達もたじろいでしまいます。

今日は遥さんがマスター達の言葉を受け取っていきます。

「TAKESHIさん、今日はみなさんに大変な事をお知らせしなければなりません。

そして、皆さん達が、より高いレベルでの遺伝子を更に受け取っていただき、その問題に対処できるように向上していただきたいと思います。

どうか、マスターアーサーや宇宙評議会の元に行かれてください。」

私達は、そこで少し話をしていましたが、マスターアメンラーと共に、今回参加しているメンバー達に新たなライトコード（光の遺伝子）を与えるために、フェニックス号に乗って1万年先の未来へと行く事にしました。

フェニックス号に乗って前回と同じように、時間のトンネルの中を通り抜け、1万年後の未来の地球へと旅します。

私達は、未来の地球の時間の中にはいり、地球の地下にある宇宙船の発着場へとフェニ



ックス号を導いてもらいます。

無事、発着場についたようです。私達はフェニックス号を降りると地下都市の中にあるビジターセンターへと向かいます。

私達が、ビジターセンターへと入ると、マスターアーサー達が出迎えてくれます。

そしてしばらくすると、とても威厳ある一人の長老が、私達の前に姿を現します。

この時代の宇宙評議会の代表のようなマスターです。

ここからは TAKESHI が、直接言葉を伝えていきます。

## PART2 宇宙評議会のマスターからのメッセージ

それでは私からのご挨拶をさせていただきたいと思います。

私達は、マスターアメンラーと同じように宇宙評議会の代表です。

以前あなたが4万年後の未来の宇宙評議会の場所へとおいでになられましたが、私はおおよそ、あなた方が生きていた時代から、1万年後の地球評議会の代表の一人です。

私がここに来た理由はとても大切な話をあなたとしなければならぬからです。

宇宙評議会があなた方に太陽人種の種族の遺伝子を予定よりも早く渡した事も、そしてあなた方が完全な種族となるために様々なマスター達から、あなた方に必要とされる遺伝子を差し上げる事も、とても大切な理由があります。

その理由というのは、完全なる人類というものの完成をすこしでも早く達成したいとい

う気持ちがあるからです。

完全なる人種というのはこの宇宙にとってやがてなくてはならない存在となります。

あなた方に先日行って頂きました隠された太陽・隠された月というのも、あなた方が完全なる人種になるためには、なくてはならないエネルギーを持っています。

ある理由によって、太陽系だけでなく天の川銀河が大きな影響をうけると、隠された太陽とあなた方の完全なる人種は、とても大切な役目を担う事となるのです。

それはこの太陽系に大きなエネルギー的な変化が起こるからです。

それは、太陽系だけでなく天の川銀河全体にも大きな影響を与えます。

私達はその事をしっかりと認識して、その事に対処しなければならないというふうに考えています。

私達はその事を未然に防ぐために隠された太陽そして隠された月を事前に作り出し、あなた方をより優れた人種へと導いていきたいと考えています。

それはおおよそ一万年後の未来から始まって、2万年後の未来、そして3万年後の未来へと続いていきます。

天の川銀河とこの宇宙はとても大きな争いや現在のあなた方では理解できないようなスピリチュアル的に大きな衝突、あるいは大きな混乱を迎える事となります。

あなた方が、天の川銀河やユニバースをまとめ、ユニバーサル・パレスをつくる事によって天の川銀河とユニバースはとても素晴らしい発展を迎えます。

それはとても素晴らしい成長をもたらし、あなた方はとても豊かな進化を迎える事となります。

しかしながら、その成長はやがて大きな力によって打ち破られる事となります。

それはあなた方の内側の問題ではなく、あなた方の外の銀河からやってくる問題です。

あなた方が非常に仲良くあるいは楽しくそして健全に成長していったにも関わらずその成長をゆさぶるような事件が起こってくるのです。

その成長をゆさぶるような事件というのは、あなた方のまだ知らない宇宙の存在達によって引き起こされます。

それはあなた方の天の川銀河やその他の銀河も飲み込もうとします。

あなた方はとても勇敢に闘います。

あなた方は持ち前の強力なパワーと団結力をもって、その事に立ち向かおうとします。

しかしながら、彼らはあまりにも強大過ぎて、あなた方の連合も打ち破っていく事となるでしょう。

今のままではそのような状況がこの天の川銀河、そしてユニバースに訪れる事とされます。

その為に、私達は一筋の望みをあなた方へかけております。

もし、あなた方が今以上に、より高次の人類へと進化し、あなた方だけではなく、多くの人々が太陽種族とよばれる完全なる人種に育っていく事ができたならば、未知なる敵からこのユニバースを守れる事ができるかもしれません。

あなた方は今持っている能力で、この天の川

銀河の様々な問題を解決し、アンドロメダやオリオン星雲の大変深刻な問題も解決する事を行ってくれました。

あなた方の力がさらに高まる事によって、そのような事態が起こったとしても、あなた方はこのユニバースや天の川銀河を守り抜く事ができるかもしれません。

4万年後の地球がまだ残っているという事は、おそらくあなた方の試みや宇宙評議会の働きは成功したと思われれます。

まだこの一万年後の今の時点では、おそらくそのような事は起こっていません。しかしこれから徐々にその影響があらわれてくるのではないかと考えています。

あの時点においてあなた方が太陽種族の遺伝子を受け入れる事ができたという事はとても不思議な事ですし、とても喜ばしい事です。

そしてあなた方がさらに成長し、より強大な光のパワーを得る事ができるように私達は常に応援しています。

あなた方が素晴らしい愛と光の力をもって、この宇宙をまもってくださる事を心から祈っています。

あなた方が太陽種族として、しっかりと生まれ変わり、そして太陽種族として立派な仕事ができるように、あなた方に素晴らしい遺伝子やエネルギー、そして能力を与えてあげるのが今の私達の仕事なのです。

ではこの映像をみてください。

## PART3 天の川銀河に渦巻く大きな雲

評議会の長老が、不思議な映像を見せてくれました。遥さんがその事について説明していきます。

最初に見せてくれたのは、人の遺伝子の様子です。

ビジョンに映った人類は、おそらくこれからずっと後の人類のようです。

人の遺伝子が進化していく事で、内臓の配置がかわり、表面の身体も変わってきています。体も、少し透明に近くなり、光に満ちています。酸素がなくてもある程度は生きていけるようです。

あるいは、酸素などの必要な物質を「光合成」のような形で自分のなかでつくりだせるのかもしれない。

体も軽くなっていて、言葉を使わずにテレパシーのような通信手段で交流を行っているようです

私は、長老にこの時代、何が起こるのか、見せてくださいとお願いしました。

ビジョンが人の体から、星々の様子へと変わります。

その映像では、宇宙に存在している1つ1つの惑星が上下に振動して、とてもアンバランスな状態となっています。

その振動の原因は天の川銀河の上に、おおきな渦がうずまいていて、特殊な波動を出しており、それが星々の波動に影響を及ぼしているようです。

私は、マスターアーサーにその渦のエネルギーの正体を尋ねました。

アーサーは答えます。

「渦の正体は、地球の人間のエゴがエネルギーに変化されて渦巻いているのです。

しかし、そのエゴを助長させて大きな影響力をもたせる人種がいます。

天の川銀河の外から働きかけている存在です。

その存在の影響を受けて、天の川銀河の中の人達が、そのエネルギーに共鳴し、さらに大きなエネルギーの渦を作り上げているのです。

しかし、その天の川銀河の外から働きかけている人達も、もともとは地球の人達のエネルギーに共鳴してきたのですから、その大元は、地球をはじめとする天の川銀河の人達の心の歪みともいえるかもしれません。

その影響は、シリウス星を中心として始まるようです。

私は、シリウス星と聞いておどろきました。シリウス星は、この天の川銀河でも、5本指に入るほど叡智が高く素晴らしい星ですし、ライト・ボディのエネルギーの中心となった星です。

しかもその近くにあるシリウス B 星には、私達が生み出した新種族や仲間達がたくさん住んでいます。

私は、すぐにシリウスのマスターであるアテネを呼び出して様子を聞きます。

この場所に 1 万年後のアテネが現れます。

私達にわかりやすいように、私達になじみ深い女神の姿で現れてくれます。

「私は、シリウス星のアテネです。

シリウスも、現在はまだ大丈夫ですが、まもなく、大きな影響を受け始めるようです。

シリウスは、とても高度な文明を誇っているため、この天の川銀河に対しても、大きな影

響力を持っています。

ただ、私達も、少しおごり高ぶってきたところがありますので、人によっては自分中心の考え方に捕らわれてしまい、彼らと共鳴して、彼らの侵入を導いてしまったところがあるかも知れません。

私達も、彼らの事を調べていますが、姿はとらえる事はできませんが、私達を操ろうとしている強力なパワーをととても感じます。

私達もどのように対処したらよいかわからないので、TAKESHI さんにその事を伝えておきたかったのです。

今はまだ、天の川銀河は健在ですが、天の川銀河連合の中にも不穏な動きがあちこちで起こり始めています。

連合の優秀なマスターや騎士団のなかにも、彼らに心奪われるものがでているようです。それに対して準備を行わなければなりません。」

1 万年後のアテネも、今と変わらずとても聡明で勇気のある存在ですが、とても心配そうに私を見ています。

マスターアーサーが続けて話をします。

「私達は、その事を察知して、予定よりも早く遺伝子を進化させる試みをしたのです。

彼らは、もともとオリオン星雲のあたりに存在していたようですが、地球人や天の川銀河の人達のネガティブな意識と共鳴して、天の川銀河にはいつてくるのが、皆さんが生活している 21 世紀から、およそ 1 万年後くらいです。

まず、その時点でシリウスといくつかの星々が影響をうけるようです。

やがて天の川銀河全体の上に重く垂れこめ

た雲によって、太陽や高次元からのエネルギーが閉ざされ、星々は光を受ける事ができなくなるのです。

そうなると、星自体がとけていくような感じとなり、星としての機能をはたさなくなります。

星のエネルギーが、どんどんすいとられていくような感じになります。」

## PART4 天の川銀河を襲う事態への対処法

私は、マスターアーサーに尋ねます。

「そのエネルギーに対処するためにはどのようにしたら良いですか。

勿論人々が意識を、愛の方向にむけていくという事は大切でしょうが、すべての人々を管理する事も不可能でしょうから、どのようにしたら天の川銀河を守れますか。」

「彼らが、天の川銀河に入る前に対処しなくてはなりません。」とアーサーは答えます。

私は、アンドロメダ銀河やオリオン星雲のマスターを呼び出して、彼らの星々が影響を受けていないか確かめる事にしました。

アンドロメダ銀河のマスターが答えますが、かなり様子がおかしく感じられます。

「私達は、存在しているか、存在していないかわかりません。

なぜならどちらになるか、まだ分からないからです。

私達は、このエネルギーの影響から、自分達を守る事ができれば、存在しているでしょうが、もし守る事ができなければ、存在していない事になります。」



私は思わず、この事態の深刻さに思いをはせます。

この事は、私達が思っている以上に深刻な問題に発展していくのかもしれませんが。

「オリオン星雲のマスターよ、彼らは、あなた方の星雲の近くに存在していたようですが、あなた方は無事でしたか。」

「私達は、未然に防いでいただきました。」  
オリオンのマスターは、きれいな星雲の様子を見せながらそう答えました。

「オリオンのマスターよ、それはよかった。それで誰に助けてもらったのですか。」

「もちろん TAKESHI さんに、です。」  
私は、その言葉を聞いて、この事が私にとっても、ユニバースのマスターにとっても避けては通れないものである事が理解されました。

メンバーの麗さんが、言葉をはさみます。

「TAKESHI さん、私には、太陽と月が融合された未来の地球が見えているのですが、天の川全体が浄化されているか、又は大きなエネルギーによって流されていくビジョンが見えるわ。

人間とは全く異なる様子を持った宇宙人。その宇宙人達は、地球人のエゴとつながって、そのエネルギーを使って活動しています。でもそれは、人間が支配欲や孤独感を、彼らと共にのりこえて次元上昇していくために起こる事、その為に、3次元の世界ではまだ歪みが解決されていないから、いろいろな事が起こってくるけれど、仕方がないわ。」

私は、この解決法を聞くために大天使ガブリエルをよんで尋ねました。

「この事は、私達にとっても、予測不可能な

事です。

この地球がその時点で存在しているかどうか、わかりません。

彼らの存在や影響はわかっていますが、私達は対処できません。

それは、私達の役割ではないからです。」

私は、大天使ガブリエルの言葉に、いらだちを覚えます。

地球人や多くの種族の存亡がかかっているのに、自分達の役割ではないという大天使の言葉が、あまりにも冷たく聞こえたからです。しかし次の瞬間、私の脳裏にひらめきました。これは大天使以上の存在による計画なんだ！

私は、この宇宙の創造主エンソフにコンタクトします。

「偉大なる創造主エンソフよ。

私に教えていただきたい事がありますが、どうかお答えください。

今回、1万年後の未来において、この天の川銀河を襲う事態は、すべてあなたの計画ですか。」

エンソフは私の前に現れ、私を見つめながら語ります。

「TAKESHIさん、よく気づかれましたね。これも、私達が作り出した計画の一つです。この事態を引き起こすのも、また解決するのも、皆さんの自由意思によります。

彼らには、目的も欲望もありません。

ただ人間の集合意識に宇宙的存在が共鳴して起こる事なのです。

皆さんをはじめ、地球や天の川銀河に生きる存在達が、さらに進化していくためのものです。

皆さんが、一つの山を乗り越える事によって、新たな人類と新たな宇宙が存在します。乗り越えなければ、4万年後の天の川銀河はありません。

私達は、この試練を乗り越えて、あなた方が新たな人種として成長していくであろうという事を信じています。

もし人間の集合意識が変わらなければ、皆さんの時代から後、地球は大変な困難に見舞われるでしょうが、あなた方、一人一人が新しいエネルギーを活性化し広げていく事を信じています。」

「エンソフよ、ありがとうございます。という事は、これから起こる事は、私達の意識の進化を強力に推し進めるための試練であり、新しい人類へのチャレンジという事になるのですね。

その為に、私達は、時と空間を超えて、様々なマスターから新たな遺伝子をいただき、地球人のエネルギーを高め、遺伝子をより高次元なものとしていかねばならないという事です。ね。

ありがとうございます。」

エンソフのエネルギーが、ずっと私から離れていきます。

私は、エンソフの話をきいて安心しました。彼らの試練を乗り越える事は、難しいけれど決して不可能ではないからです。

彼らは、私達の意識と能力を高めるために、試練を与えますから、それは必ず乗り越える事ができるものなのです。

## PART5 ライトコードの再調整

私達は、一安心して、マスターアーサーから、愛の遺伝子と環境耐性の遺伝子をいただく事にしました。

前回ここにきていないメンバーは、初めて受け取りますが、前回来たメンバーは、その再調整を行ってもらっています。

私達はこれから、新たな遺伝子の事を「ライトコード」と呼ぶ事にしました。

その間、宇宙評議会の長老が私達にメッセージを伝えてきます。

おそらく、私達と創造主エンソフとのやり取りを聞きながら、その真相に驚いている様子です。

「皆さんが、この世界に来ていただき、そしてこの遺伝子を受けとっていただく事に感謝します。

私は、今日これからの地球や天の川銀河にどのような事が起こり、それをあなた方の力によって救っていかなければならないという事をお話しさせていただきました。

私達にとっての希望は、あなた方が素晴らしい人種として成長するという事だけです。

オリオン星雲のマスターが、あなたが存在する事によって、オリオン星雲が救われたという事を申しておりましたが、それはまさにあなたの仕事が成功するであろうという事を私達も確信しております。

あなた方が行ってくださる事はきっと未来において素晴らしい働きになるであろうという事を私達は深く信頼しております。

そのために私達はあなた方を見守り、宇宙評議会はどの時代の宇宙評議会を通してても全

力であなた方を支援する事になると思います。  
またお会いできる事を楽しみにしております。」

その後私達は、1 万年後の地球を後にして、  
4 万年後の地球へ太陽種族の遺伝子ももら  
いに行きました。

今回初めて行く人には、基本的な遺伝子をい  
ただける事になっていますが、2 回目の人  
には、その人に合わせた遺伝子が、セッテ  
ィングされていくようで、一人一人のメン  
バーの元に、科学者がそれぞれついて調  
整を行っているようです。

## 第6章 プレアディス星団 のドルフィン・コード

### PART1 プレアディス星団からの招待

私は、今回の星のツアーの前日の明け方に夢を見ました。

それは、一頭のイルカが浜辺に打ち上げられていた夢です。

いるかを取り囲むかのように、数名の人達が立って見守っています。

人々は、いるかを海の中に押し戻そうとしていたのですが、いるかは、それを拒むように動きません。

私が近付くと、いるかはひれを動かし、かん高い声で鳴き、何かを知らせようとしています。

私は、いるかの横にひざまずき、いるかを撫でると、いるかの声が聞こえてきます。

「どうかプレアディスに来てください、あなたに渡したいものがありますので、皆さんと一緒に取りに来てください。」

私は、いるかの体をなでながら、「もちろん行きますよ、ところで何を受け取ってほしいのですか。」と私は尋ねました。

するとイルカの声が私の胸に響きました。

「皆さんが、わくわくと楽しんで活動ができるようにするための遺伝子です。」

私は、いるかの体をなでると、いるかは体を反転させるようにして転がり、海の中に戻っていきました。

この夢は明け方に見た夢で、あまりにも鮮明でしたので、星のツアーでメンバーと共に、

プレアデイス星団へと行く事にしました。  
プレアデイスは、私達が初めて、星のツアーをおこなった場所ですので、とても深い思い出入れがあります。

セントジャーメインや愛の女神セレーネ、そして富士山の危機を救ってくれたパトリス司令官などがこのプレアデイス星団のマスター達です。

私達は、プレアデイス星団の入り口につくと、ドルフィンのマスターを呼び出しました。するとイルカの雰囲気を持ったマスターが現れます。

きっと夢の中に現れたマスターだと思います。

「昨日は、私の元に会いに来てくださり大変ありがとうございました。  
あなたとお会いする事ができて、とてもうれしく思います。」

「TAKESHI さん、初めまして、こちらこそ、皆さんと共に活動する事ができて光栄です。私達は、あなた方が新しい種族の進化のための準備に入った事を聞いて、その時がやってきたという事を知りました。

私達も、皆さんのお役に立てる事を心から嬉しく思います。

それでは、さっそくですが、あたらしい遺伝子を受け取る前に、皆さんの心を癒しにいきませんか。」

私達はうなずくと、ドルフィンマスターと共に、通路を通過して別次元へと入ります。

おそらくここは、マイヤー星の海の中かもしれません。

澄み渡った青い海の中に漂う光、魚達のエネルギーも感じます。

どこか女性性のエネルギーや月のエネルギーが入り混じった不思議な場所です。

ドルフィンのマスターが私達を、振り返り話をしてくれます

「ここでは、あなた方が生命を授かる時のDNAと男性性、女性性ができる前の生命の源の部分に癒しのエネルギーを流したいと思います。

この部分を癒す事により、あなた方は今まで以上に生命力を高める事ができます。

あなた方の遺伝子の中でも、3次元で傷つけられている遺伝子を修復し元の純粋な遺伝子に戻していきましょう。

そして、ここで遺伝子を修復すると共に、さらに活性化してプレアディス特有の遺伝子を授かってください。」

私達は、心地よい海の流れに身を任せ、自らの遺伝子を癒していきます。

## PART2 プレアディスのドルフィン・コード

私達は、しばらく自らの遺伝子を癒した後に、さらに光の通路を抜けてエレクトラ星へと向かいます。

ここでは、鉄腕アトムのような科学者のような姿の方が待っています。

丸くて明るい部屋、無菌室のような場所に機械類などが置いてあるようです。

ここはエレクトラ星の秘密の研究所のような場所です。

私達は科学者の話に耳を傾けます。

「あなた方を呼んだのはこの大切な遺伝子をあなた方にお渡しするためであります。



太陽種族の遺伝子のなかでも、この遺伝子はとても大切な遺伝子です。

せっかく太陽種族の遺伝子をもったとしても自分の責務の中でがんじがらめになってはとても息苦しくなり、あなた方の能力をいかす事ができないからです。

私達が与える遺伝子は、私の使いのドルフィンが言っていたように人生を楽しむ遺伝子です。

もちろんあなたに言わなくても、あなたがこれから行う事は、この宇宙の未来を左右するような大切な任務です。

しかしながら、その任務によってあなたの責任感や義務感が、あなたに大きな負担をかける事で、あなたの精神性を歪めてしまったり、「人生が楽しくない」「なにか大きなプレッシャーの中で自分自身がダメになってしまう」あるいは、「自分の精神状態がストレスで壊れてしまう」というような事を予防するためにつくられたライトコードです。

そしてそれと共に多くの遺伝子のジョイントを行います。

ジョイントというのはこれから様々な遺伝子があなたの元に渡されていきます。

そのために中には相性があまりよくない遺伝子達もあります。

とても次元の高い遺伝子ですので、非常に精妙につくられているわけです。

そういった遺伝子を保護し、またその遺伝子同士の繋がりを作ってあげるのもこの遺伝子の役割です。

いくつもの遺伝子が、一つの遺伝子構造の中に加えられる時、そういったコネクターとしての遺伝子の働きがとても重要になります。

そうでなければ遺伝子の作用がぶつかり合  
って、せっかく優秀な遺伝子であるにも関わ  
らず、その遺伝子の力が発揮されないという  
事になってしまうからです。

プレアデイスのドルフィン・コードというの  
は人生を楽しく、生き生きとそして有意義に  
過ごすために大変役に立ちます。

それと同時にあなた方が楽しくて生き生き  
していると多くの人達の欠点が目に入りま  
せん。

あなた方が楽しくて生き生きとしていると  
周りの人達も同じような人生を送るようにな  
って行くのです。

あなた方が、このドルフィン・コードを身に  
つけるだけで、あなたの友人やあなたの仲間  
達も、もっとすばらしい人生をおくっていく  
事ができるようになります。

それがとても楽しい事だと私達は思ってい  
ます。

あなたの中にある素晴らしい愛のエネルギ  
ー、光のエネルギーがこの遺伝子を通しても  
っと素晴らしいものとなって発揮されてい  
くでしょう。

そのためにこのドルフィン・コードを、あな  
た方に差し上げたいと思っています。

この遺伝子を使う事によって、さらに素晴ら  
しい光とさらに素晴らしい愛のエネルギー  
をあなたはもたらず事ができます。」

私達は、目を閉じ、ドルフィン・コードを受  
け取り、自分達のスピリットの中に満たして  
いきます。

遺伝子のエネルギーは、遺伝子として実際に  
活用できるようになるまでに、大変な時間と  
何世代にもわたる物理化現象が必要ですが、

遺伝子（ライト・コード）のエネルギーは、その人のスピリット部分にたいしては、比較的早い時期から影響を及ぼす事ができます。特に今回のドルフィン・コードのようなライトコードは、受け取る事によって私達の感情を癒し変容させていく事が可能です。

私達は、このドルフィン・コードを受け取る事により、心の中にとても素晴らしいエネルギーが広がっていく事を感じます。

麗さんが、夢見心地で話します。

「TAKESHI さん、このドルフィン・コードは、私達をとても素晴らしいワンネスの世界に導いていくわよ。

私は今、鳥になって大空を飛んでいるみたい。このワクワクドキドキの遺伝子が人類はもちろん地球のコアの部分までいきつくと素晴らしい事になるわ。

この遺伝子をもった事により、愛のエネルギーが自然にまわりに波及していく。とても素敵ね。」

もう時間もだいぶ遅くなりこれで今日のツアーを終了しようと思っていたのですが、私は急に、もう一つ大切なコードがあるような気がして、科学者に尋ねました。

「とても素晴らしいドルフィン・コードをいただき、心から感謝いたします。もしかしたら、プレアディスにはもう一つ大切なライトコードがありませんか、教えてください。」

科学者は、私に向かってにっこりと笑います。「それはアトラス星にあります。」

## PART3 アトラス星のシェイプシフトを可能とするウィザード・コード

アトラス星は、私にとっては忘れる事ができない星です。

というのも、私達は、アチューメントの時、プレアデイス星団に来るように呼び出されました。

そして、この星団を中心としてグレート・ブッダとその仲間達が活動している事を知らされました。

グレート・ブッダ達の活動の目的は、宇宙の叡智ある人々が、誤った道を進まないように、しっかりと守護し導く事です。

プレアデイス星団にも、プレアデイス連合というものがあり、グレート・ブッダと共に宇宙の平和を守るために活動しています。

私達の活動も初期のころ、このプレアデイス連合のサポートを受けていました。

そしてこのアトラスという星は、私達が天の川銀河や局部宇宙の創造に大きく携わる「グレート・マザー」と呼ばれる存在を目覚めさせた後に、その「グレート・マザー」の働きをサポートする「宇宙の魔法使い」と呼ばれる存在を目覚めさせた星です。

「宇宙の魔法使い」とは、天の川銀河だけでなくアンドロメダ銀河も含めて局部銀河最高の魔法使いです。

私は、アトラス星に入るとグレート・ブッダと「宇宙の魔法使い」を呼び出しました。

「グレート・ブッダよ、宇宙の魔法使いよ、お久しぶりです

今日は、新たなライトコードを探し求めてプレアデイスまでやってきました。

このアトラス星にも、素晴らしいライトコー

ドがあると聞いたのですが。ご存知ですか？」

グレート・ブッダはゆったりとした白いローブのようなものを身につけています。

「私達もいつかこの時期が来る事を待ち望んでいました。

1万年後の未来に向かって、みなさの遺伝子を大きく成長させる時が来た事をうれしく思います。

あなた方の活動によって、これからの宇宙のシナリオが大きく書き換わる分岐点に、私達は立っているのです。

そしてこのアトラス星には、ここに封印されていた「宇宙の魔法使い」に関するライトコードが保存されているのです。」

研究所につくと、私達は科学者に案内されて、青白い光線が張り巡らされている部屋の中に通されました。

科学者のリーダーのような方が、私達の前に現れて話始めます。

「TAKESHIさん、そして皆さん、よくこちらまでいらしてくださいました。

皆さんが、ドルフィン・コードを受け取ったらそのまま帰るだろうと思っていましたので驚いています。

プレアディスが作り出した遺伝子は、皆さんの人類の中にもたくさん使われています。

皆さんの遺伝子の何割かはプレアディスの遺伝子といっても過言ではありません。

リウ星から来た人達が素晴らしい文明をこの宇宙の中に作り上げてくれました

彼らが、プレアディスに来てくれたおかげで私達も、彼らの遺伝子を受け継ぎ十分に進化してきました。

そして、私達は、長い歴史のなかで必要とな

ると思い、様々な遺伝子を研究してきました。あなた方は、どのような環境のなかでも生きていく事ができるライトコードをアーサーから受け取りました。

私達が、今回準備しているのは、環境にあわせて、自由に姿や体の働きを変える事ができるシェイプシフトの能力を生み出すためのライトコードです。

かつて、地球のレムリア時代、魔法使いやホビット、マーメイドなどの神話的な存在のなかにシェイプシフトの能力を持った存在がいたのです。

しかし、アトランティスなどの統治者等により、シェイプシフトの能力を持った者達の多くが殺されてしまいました。

彼らは、通常の人類や他の存在達に比べて、さらに大きな能力を発揮するために姿をかえる特質が与えられたのです。

その能力を最後まで保持していたのは、特殊な魔法使い達です。

彼らはシェイプシフトに関して特殊な遺伝子を持ち続けました。

その中でも、ここに保存されているライトコードは、この宇宙の中でも最高クラスの「宇宙の魔法使い」が保持していた遺伝子です。彼が、長い間封印される事となり、彼の遺伝子を安全に保持するために、この研究所でその遺伝子が解明され、更なる研究が行われてきました。

そしてシェイプシフトができる能力を持った遺伝子が解明されたのです。

これは、最大クラスの秘密ですが、皆さんが、太陽種族の遺伝子構造とライトコードを受け取り、完全なる種族である事を目指す時に、どうしても必要となるライトコードです。

あなた方が、太陽種族になった時に発揮される力や魔法を使う能力。

目に見えないものから目に見えるものを作り出す能力

自分が姿を変えるだけでなく、他の者に姿を変えている者、目に見えない状態で隠れている者の姿を暴き出す能力も目覚めさせる事もできます。

勿論、すべての人がこの魔法使いのライトコードを取り入れる事ができる訳ではありませんし、取り入れる必要もありません。

しかし、宇宙の真理や法則を知る者、又その叡智を持って宇宙の創造と進化に携わる者にはなくてはならないものとなるでしょう。

私達は、その遺伝子であるウィザード・コードを解明して、来たる時のために準備してきました。

強力なライトコードのコネクターであるドルフィン・コードを先にお渡ししたのもそのためです。

私達の研究の中で、皆さん人類にも適応できるように作られていますので、ぜひご使用になられてください。」

私は、科学者の話をきいて驚きました。

おそらく彼らは、やがて完全なる種族が作られるであろう事を考えて、ずっと前から準備を行っていたようです。

私達の人生の短い時間の中では考えられないような、遠大な計画がこの宇宙の中にあるようです。

そしてその計画の中心に私達が立っている事に、大きな責任感と喜びを感じています。私達の目の前で「宇宙の魔法使い」もにこやかに笑っています。

「TAKESHI さん、あなたが、以前ここにきて私を目覚めさせてくれなかったら、今の私ありません。

全てが宇宙の偉大なる歯車の中で回り続けている事を知ってください。」

私は、自分の道を確認するようにしばらく考えました。

「偉大なる科学者よ、そして宇宙の魔法使いよ。

皆様のご厚意に深く感謝します。

私達にどれほどの事ができるかわかりませんが、私達は、ウィザード・コードを受け取り、自らのスピリットの働きを高め、そしてその偉大なる能力を育てていきたいと思えます。

どうかよろしくお願いいたします。」

私達は、科学者に案内されて特殊な部屋に入りウィザード・コードを受け取る事となりました。

そこで今夜の星のツアーは終了です。



## 第7章 ライトコード・ラボ (研究所) の創設

### PART1 ライトコード・ラボ (遺伝子の研究所)

12月8日に行われた星のツアーでは、私達はまず、アディティーヤの創造主の神殿に行きました。

ここは天の川銀河の中心となる神殿です。

これから起こる事はこの天の川銀河が中心となって行われますので、アディティーヤの意見を聞く事も大切です。

多くの神々を生み出したアディティーヤは、いつものようににこやかに笑っています。

「TAKESHIさん、そして宇宙の光のメンバー達よ、いよいよ進む時が来ました。

皆さんが、新たな未来を築くために、新しいライトコードの研究へと導かれていく事を祈ります。

皆さんの日々がどんどん変化する事を恐れずに前進して行ってください。」

私達は、その言葉を聞くと安心してユニバーサル・パレスへと向かいました。

こちらは、私達が創った宇宙に浮かぶ都市のようなものです。

ここでは、天の川銀河やアンドロメダ銀河、オリオン星雲だけでなくこの宇宙に存在する多くの銀河や星団、特殊な役割を持った星々の代表的なマスターや騎士団、魔法使い達が集まって、宇宙で起こっている問題や宇宙の未来について会議を行うための場所です。

常にこの宇宙を創造した創造主達からのエネルギーを受け取り、それを各銀河や星々に分かち合う事で宇宙の進化と調和のために活動しています。

私達は、ユニバーサル・パレスの会議室に入りました。

会議室はとても大きく「東京ドーム」のような雰囲気です。

中央に、中心メンバーのためのステージがあり、ここに20名ほどのマスター達が座ります。

私もその中の席に座ります。

私は、私達が行っている遺伝子（ライトコード）に関する動きを皆さんに報告します。

やがて訪れるかもしれない危機とそれを回避するために私達が行わなければならない事。

それはまず、私達が、自己中心的な感情に陥らない事、支配欲やエゴに自分を委ねたり、その事を助長するグループとの接触を行わない事です。

そしてもう一つは、そのような危機が現れたときに、その事を解決できる能力を持った種族を育てていく事です。

勿論そのような危機が起きなくても、私達人類や宇宙の様々な種族は常に進化を目指して努力していますが、その努力を支え、進化のスピードを速めるために、特別な遺伝子（ライトコード）の研究所を作る事にしました。

その目的は、私達が現在4万年後や1万年後の地球に行って優れた遺伝子をもらってきています。

また未来だけでなくプレアディス星団から

も素晴らし遺伝子をもっていますが、これから時と空間を超えて様々な世界のマスターから、新たな遺伝子（ライトコード）を受け取る事となるでしょう。

私達は、それらの遺伝子（ライトコード）を研究し、人類に適合したものにしていかなければなりません。

また遺伝子（ライトコード）同士が組み合わされたときの影響や作用も調べていかなければならないので、専門のマスターや科学者によってプロジェクトを作り、遺伝子（ライトコード）の研究を行ってもらう必要があります。

また地球人だけでなくこの宇宙の他の種族達も、地球人と共に進化していく必要があります。

地球人以外の種族達にも、優秀な遺伝子（ライトコード）を分かち合い、共に宇宙の危機を乗り越えていくために進化していく事も大切な事です。

そして身近な目的でいえば、「宇宙の光」の新しい活動は、このライトコードを私達が1つずつしっかりと受け取るための活動となります。

その時、未来の地球や様々な星にライトコードを取りに行くのではなく、現在行っているアチューメントのように、手軽に新たなライトコードを手に入れるライトボディ・パレスのような場所が必要です。

ライトコード・ラボに行けば、その人にとって必要な遺伝子（ライトコード）がもらえたり、遺伝子（ライトコード）によって起こる様々な作用や不適合の問題を解決できる場所が、これから必要になってきます。

その為に、専門家のマスター達で協力して活動を行うライトコード・ラボ（遺伝子の研究所）は、重要な役目を担うものとなるでしょう。

ユニバーサル・パレスの中では、その設立に不安を持つ人もいないわけではありませんが、未来の危機を回避するために、人種として進化していく必要がある事を思えば、その進化を安全に効率的に行うという事は極めて重要な事となります。

私達は、未来からマスターアーサーとマスターアメンラーにも来てもらい、話をしてもらいます。

未来のマスターからの話はとても興味深いものがあります。

私は、彼らの話が終わると、ライトコード・ラボ（遺伝子工学の研究所）の設立のための評議会を作ります。

中心となる第1評議会は、ゴッド・オリジンを代表として、ゴッド・ユニティやアルシャー、セントラル・サンとムーン、そしてマスターアメンラーなどのライト・ボディのアチューメントのエネルギーを担当して下さった宇宙のマスター達が担当します。

そして、そこをサポートする第2評議会は、アシュタールやユニバーサル・パレスの主要なメンバーが担当します。

そこに新たに、見慣れないマスターが一人参加を申し出られたので、話を聞くと、私達が4万年後の未来でお会いした宇宙評議会の長老のようです。

第3評議会は、実際に遺伝子の研究に携わる科学者達で構成されます。

私達は、評議会を創ると、ユニバーサル・パ

レスの上空にライトコード・ラボ（遺伝子の研究所）を創り始めました。

ユニバーサル・パレスのメンバー達の光を一つにして祈り始めます。

神聖幾何学が描かれた中から、細やかなエネルギーと共にシールドが貼られて、隔離された特殊な壁ができ上がります。

そこに特別なエネルギーで仕切られた大きなスペースができあがり特別な聖域となります。

私は、この宇宙の創造主であるエンソフにお願いして、星々や新たな次元を創る専門のマスターにも協力をしてもらい、特別な構造のラボを作り始めます。

ウイング達や鳳凰族を中心としたバード族も集まってサポートしてくれています。

大きな光が、様々な色に輝き始め、やがて美しい建物の外観が見えてきます。

おそらく内部の設備なども含めて、これからしばらく時間をかけて作り上げていくようです。

次の星のツアーの時には、少し見学ができるかもしれません。

## PART2 黄金の光の女神

私達は、ライトコード・ラボの建設をマスター達にお願いして、今日参加してくれたメンバー達のために、1万年後と4万年後の地球に向かう事にしました。

私達が、移動の準備をしていると、葵さんが、今までであった事のない女神がそばに来ている事を伝えてくれます。

葵さんはとても特殊な感覚を持っており、私達が気づかない次元の扉を開いて新しいマスターや女神を迎えたり、私達の活動を一気に飛躍させていくきっかけを作ったりする事があります。

「TAKESHIさん、今までであった事のない女神様がいらっしゃいました。

とても美しい黄金色の光で満たされたとてもエネルギーの高い女神様のようですが、どうしますか。」

私は、葵さんの感覚を信頼していますので、彼女に女神とエネルギーをつないでもらうようお願いします。

私達は、女神に導かれて、黄金色に輝く場所に入っていきます。

そこは今まで一度も来た事がないような神聖なる世界である事に間違いのないようです。私達の心の中に、その場所は生命を形作る源、根源へとつながるための光である事を伝えてきます。

「TAKESHIさん、そして皆さん、初めまして、私は時と空間を超えたところに存在する唯一無二の存在です。

私は、いつも皆さんを見守っています。

今回の活動について、あなた方にお問い合わせがあります。

どうか、一つの次元だけで物事を見ないで、もっと様々な次元から今回の活動を見直してください。

未来は皆さんの心から生まれてきます。

皆さんの気持ち一つで未来は大きく変わるので。

皆さんが持っている他の存在への差別意識、優劣意識を私達は払拭していきます。

皆さんは、これからの未来を自由に選択して、障害や困難な出来事も自由に乗り越えていく事ができるのです。

本当の真実は、あなた方の心の中にある事をしっかりと理解してください。

私は、次元や領域、そして時間さえも超えてあなた方を見守っています。」

私は、黄金の女神の言葉に、1万年先や4万年先の未来に行って、マスター達にあたり、宇宙評議会の代表から、地球の未来を託された事に対して、少し有頂天になっていた事を改めて気づかされました。

私の心は大きく揺れ動きました。

私が行っている事は、この宇宙にとって必要な事なのだろうか、私のエゴによって、本来あるべき宇宙の姿がゆがめられていくのではないのだろうか。

私達は、女神の言葉を真摯に受け取り、宇宙の光のメンバー達とどのようにしたら良いか少し話をしました。

そして、私達は黄金の女神の光の中で、深い瞑想状態に入っていきます。

その後、いくつかのアチューメントを通して、この事を深く考えさせられるメッセージなども受け取りました。

私達は、その中で、この未来を担う新しい人種を生み出すという事には、大変な責任と覚悟が必要である事を知り、そしてその責任を引き受ける事にしました。

### PART3 エンソフと新しい地球

私が、個人アチューメントを行っているとき

に、この宇宙の創造主であるエンソフが現れました。

そしてエンソフは、私が黄金の女神の言葉に耳を傾け、自らの行動を振り返りながらも、人類の進化のために、ライトコードの仕事をすることを決意した事を大変喜んでくれました。

もともとこの天の川銀河を中心とした人類の進化の計画は、創造主であるエンソフによって計画されたものですが、未来に起こる地球や天の川銀河の大きな危機を回避するために、地球の人類が進化して太陽種族になるための選択は、地球人である私達に委ねられているのです。

特に、地球人が、支配欲や自己中心的な感情に満ちた行動をとる事によって、宇宙のネガティブな存在と共鳴して地球と天の川銀河に大きなダメージを与える事を防ぐためにも、地球人の意識進化は、少しでも早く行わなければなりません。

その為に、今まで祈りや女神達のエネルギーなどをアチューメントとして分かち合ってきたのですが、これからの活動は、人類が持つ遺伝子に働きかけ、人類の資質を高めていく方法が用いられていく事となります。

エンソフは、黄金の女神の言葉によって苦悩してきた私の肩を抱き、元気を出すように励ましてくれます。

「TAKESHI さん、元気を出してください。黄金の女神は、本当にあなたが、人類の進化のためのライトコードを受け取る資格があるか試したのです。

そして、この宇宙の最大の秘密であるライトコードは、天の川銀河だけでなく、他の銀河



や星雲、星々からも供給されます。

つまり、このユニバース全体の未来に大きく影響する事柄なのです。

その仕事をあなたが、真剣に取り組んでくれるよう導くために、あえてあなたの前に姿を現したのです。

女神は、あなた方の事を信頼し、あなたの事を愛しています。

どうかその事を理解して、自分の仕事に自信を持って行ってください。」

「偉大なる創造主エンソフよ、ありがとうございます。

確かに、私も黄金の女神の言葉に動揺し苦しみました。今は黄金の女神の言葉をとてもうれしく思っています。

私は皆さんの意志と共にある事を深く感じています。」

するとそこに、にこやかな笑顔を浮かべた黄金の女神が現れます。

「TAKESHIさん、あなたを動揺させ、試すような事をして、申し訳ありませんでした。私達は、あなたの事を深く信頼していますが、人間として、この大切な仕事にきちんと取り組む覚悟があるか、確かめたかったのです。でもあなたが、私の言葉を深く受け止めてくださった事に、私達は感謝しています。そして、この地球と宇宙の未来を、あなたに委ねたいと思います。」

黄金の女神の優しい言葉に、私の頬を涙が一筋流れていきます。

エンソフが、私達についてくるように言います。

私達は、エンソフと共に、空間を移動すると、そこには生まれたての地球があります。

「TAKESHIさん、ごらんなさい。

あなたが、この仕事にしっかりと取り組む事が決まったために、未来は大きく変わろうとしています。

新たな地球が生まれ、きっと今までとは異なる素晴らしい未来を持った地球となる事でしょう。」

私達は、生まれたばかりの地球に降り立ちました。

するとそこに、人間にしてはとても小さく見える存在が現れました。

どうもこの地球の創造に携わっているホビットのようですが、よく見ると1万年後の地球のマスターであるアーサーのようです。

「もしかして、あなたはマスターアーサーですか。」

私は声をかけます。

「そうですよ、今回はホビットの姿をしているので、見つからないかと思っていましたが、やはりすぐにわかってしまいましたね。

あなたの決意によって、地球は新たな未来を作り上げようとしています。

この地球は、皆さんが作り上げる未来の地球ですが、私が今その基礎を作っているところです。

これから、あなた方が、ここにやってきて、新たな地球の創造を行うのです。」

「マスターアーサーよ、新たな地球が生まれるとは、とても素晴らしい事です。

きっと私達が、立派に育てていきますので、どうかよろしくお願いします。

もしかしたら、あの隠された月と隠された太陽も、この新たに生まれた地球と深い関係があるのですか。」

「もちろんです。

あの太陽と月も、新しく生まれてくる地球の

ために準備されたいたものです。

全てが、偉大なるエンソフの元で、緻密に計算された事です。」

私は、生まれたばかりの地球の姿を、愛しそうに見つめているエンソフの姿を胸に刻みます。

この偉大なるエンソフ達の思いと愛は、いったいどこまで広く深いのだろうか。

私達は、創造主エンソフの偉大な計画の事を思いながら、この新しい地球を後にします。

## PART4 ライトコード・ラボへの訪問

エンソフ達による偉大な計画の話聞いた後、12月12日にも星のツアーが開催されました。

今日は、宇宙の光のメンバー達を、新しくできたライトコード・ラボに案内する予定です。

前回の星のツアーの時から、マスターや魔法使い、そして天使やウイング達も一緒になって素晴らしい遺伝子工学の研究所である「ライトコード・ラボ」が建設されていましたが、私達が訪れた時には、おおよそ出来上がっていました。

大天使ラジエルと大天使メタトロンが私達の前に現れてきます。

大天使ラジエルは、私達と共に、ラボを見渡すようにして説明してくれます。

「このラボは、他のどのラボよりも大きく複雑な構造をしています。

あなた方が、尋ねたいいくつかの研究所ともすでに、光の道でつながっていますし、これか

ら行くラボともすべて、時と空間を超えてつながっていく事でしょう。

他のラボでは、まずありえない特性をいくつも持っているようです。

ほら、ごらんなさい、中央に大きな広間があるでしょう。

そこからいくつも光の道が伸びて、他のラボとつながっているのです。」

大天使メタトロンもすぐ横にいます

「このラボが行う事は、今までになく壮大で大切な計画となりそうです。

勿論私達も協力させていただきますし、私達天使も、このラボによって作られた光によって成長していく事ができます。」

私は、なぜか、2人の大天使達が子供のようにはしゃいでいる姿を見てとてもうれしくなります。

私達がラボの入り口につくと、すぐにゴッド・オリジン達がやってきました。

通路の両側には、研究施設が並んでいるようです。

窓越しに複雑な機械や装置、そしてそこで働いている人達の姿も見えます。

ここでは地球人だけでなく、それぞれの星に住む人の特質に合わせた遺伝子の研究室もあるようです。

人間の遺伝子を中心に研究している場所では、人間の遺伝子を調べ、その遺伝子を活性化したり、人間の遺伝子に組み込まれた星ごとの遺伝子の特徴なども調べる事ができるようです。

1つの研究室では、人間の遺伝子の中でも、これから起こる病気に対して、遺伝子的に捜査を加える事で病気を防ぐ研究もされているようです。

この研究所では、私達がもらってきた特別なライトコードのほかにも、他の星々の人種達の標準的な遺伝子はもちろん特殊な遺伝子も保存されているようです。

私達が最初に入った部屋は、大きなモニターがいくつもある部屋で、特定の人々の遺伝子の状況を診断したり、星ごとの遺伝子の標準的なスタイルを見たりする事ができる部屋です。

ゴッデス・レイは、私達に遺伝子の構造を、まるでタペストリーに描かれた「カバラの生命の樹」のような形で見させてくれます。遺伝子は、セフィロートと呼ばれる光の玉のように見え、その玉と玉の間を光の糸のようなものがつないでいます。光の玉でも、活性している遺伝子は様々な色に輝いていますが、活性していない遺伝子は、暗く重たく見えます。

光の玉も、小さいものもあれば、いくつもの遺伝子が複合的に集まって複雑な構造をした大きなものもあります。

玉の配置も、中心にとおっているラインの上にメインの遺伝子があり、そのラインの左右対称の位置にいくつもの異なる働きをする遺伝子達がいくつも配置されています。中には、他の遺伝子とあまりつながりを持たない特殊な遺伝子も存在しているようです。

私達は、プレアディス人達の遺伝子構造を見せてもらいましたが、プレアディス人の標準的な遺伝子構造は、クラウンチャクラにあたる部分がとても発達しているように見えます。

そして遠くを見渡す事ができる視力という

ものがきわめてすぐれているようです。

またベガ星の標準的な遺伝子も見せてもらいました。

その構造は全体的にゴールドに光っており、遺伝子の配置もまんべんなくきれいなつながり方をしているようです。

私達は、地球人の進化の最終目標となる太陽種族の遺伝子構造を見せてもらいました。

それは、本当に芸術品ともいえるほどに美しく光輝いています。

他の種族よりも、ひときわ大きく複雑な構造を持ち、遺伝子コードもさらに増え、通常の螺旋構造とは異なる形をしています。

オリジンによると、この太陽種族の遺伝子構造は、この遺伝子を持つ人の光が、周りの人々に大きな影響を及ぼすように特別な形をしており、また遺伝子を支える基盤も、すでに炭素からケイ素そしてダイヤモンドの構造を持つ特殊な物質に変わっているとの事です。

完全なる太陽種族は、約1万年後に現れ、さらに成長と進化を遂げ3万年後に完全な形になっていくようです。

私達は一人一人その場所で遺伝子のチェックを受けています。

科学者は、コンピュータのようなものに私達の情報を入力しています。

おそらくこれから遺伝子の修復や活性を行う時にこの情報をもとにして行われるようです。

私達は次の部屋へと案内されました。

そこは、滝のような浄化のエネルギーにあふれています。

部屋に入るだけで、心地よい気持ちになってきます。

そこにはいくつものベッドが並んでいて、私達はそのベッドの上に横になります。

すると体の上をスキャンされるように光が通り過ぎていきます。

その後は、人それぞれですが、点滴のように光が注入されていく人もいれば、レーザー光線のように、光が体の内側に向けて放たれている人もいます。

ラボの人達が、1人1人に応じた光を、遺伝子に送り、その遺伝子の修復と浄化を行っていているようです。

遺伝子の浄化と修復が終わると、私達は次の部屋に移ります。

その部屋は、それぞれの目的に合わせて、遺伝子を活性化していくための部屋です。

また同じようなベッドに寝て、研究所の職員に、自分がどのようになりたいかを伝え、その目的に合わせて遺伝子を活性化したり、必要なライトコードを遺伝子の中にいれたりしていきます。

とても不思議な感覚です。

自分自身のスピリチュアルな能力を高めたり、新たな資質を身につける事を行うための部屋のように。

メンバー達も、それぞれのブースで遺伝子の活性を受けていますが、活性が終了すると、それぞれのオーラが調和したような様子で、とても美しく輝いています。

ただ、私が気がかりなのは、この部屋があまりにも病院の診察室や治療室に似たようなイメージがあるので、あまり好きになれない事です。

確かに行っている事は、診断と治療なのですが、あまりにも機械的な感じがすると、ここに来る人達がリラックスできないのです。

私はオリジン達と相談して、部屋のイメージを変えてもらう事にしました。

遺伝子の修復の部屋は、愛の女神ラメールをイメージして、月夜の浜辺に立つ小さな神殿の中で、遺伝子の修復を行うような風景に変えてもらいました。

遺伝子の活性の部屋は、太陽神アメンラーの光が満ち溢れるように、朝の太陽が輝く美しい野原です。

上ってくる太陽の光に伴って、神殿の周りの花が開いていく事で、遺伝子の活性のエネルギーを表現する事にしました。

ゴッデス・オリジンも私の要望に苦笑いしていますが、地球人の好みというものも大切にしなければなりません。

しかし私達は、地球の未来のマスター達からの呼びかけによって、地球の未来を担う太陽種族への第1歩を踏み出す事となりました。そしてその歩みのために、このユニバースでも最大クラスの遺伝子工学研究所(ライトコード・ラボ)の設立を行ったのです。

## PART5 星の通路からアルクツールスへ

私達は新たに生まれたライトコード・ラボで遺伝子の活性を受け終わった後に、中央にある広場に案内されました。

ここは、私達が今までに行った事がある各星々の遺伝子ラボへとつながっている通路がある広場です。

広場は、様々な光の星や銀河が輝き、まるで



宇宙の真ん中にいるようです。

通路を通っていくとプレアディウスやシリウスのラボへも行けるようです。

私達は、これからアルクツールスに行かなければならない事を告げると、通路の一つが輝き始めました。

私達が、その通路の中に入ると、光がさらに輝き、体の後ろへどんどんと光が流れていきます。

私達は、通路の中を通過して、アルクツールス星の遺伝子のラボへとつく事ができました。アルクツールのラボで、私達を出迎えてくれたのはイデオスというマスターです。

彼は、私達に丁寧に挨拶をすると、「私達が来る事を待っていた。」と、伝えてきます。

私は、ここがアルクツールスである事を確認するために、アルクツールスのマスターである、クートフツミ様と魔法使いのマーリンを呼び出します。

彼らは、私達がアルクツールス星を訪れたときに、何度も言葉を交わした事がある仲間です。

マーリンも、クートフツミも私達に会えた事を喜んでくれます。

「TAKESHIさん達の、新たな試みが始まった事を私達はとてもうれしく思います。

私達は、地球よりも一足早く次元上昇を迎えましたが、これから地球も大きな進化を迎える事でしょう。

そのような時に皆さんが地球人の進化のために活動してくださる事はとても大きな意味がある事です。

私達も出来る限り協力を行いましょう。」とクートフツミは語ります。

遺伝子工学のラボのマスターであるイデオスは、私達を光輝く建物の中央に案内してくれます。

ここは、アルクツールス星の遺伝子ラボです。光り輝く建物の中はとても美しい光で満ちています。

彼は、私にライトコードの一つである「クリアリング・コード」を見せてくれます。

「TAKESHIさん、まずこのコードをご覧になってください、

このコードは、独自で何か特殊な働きをするわけではないのですが、このコードは、皆さんの遺伝子達を守る働きをします。

つまり、この宇宙には、遺伝子に損傷を与える生物も存在しています。

たとえば、遺伝子に寄生する虫のような存在や遺伝子を破壊する働きを持つウイルスなどもそうですが、そのような生物から遺伝子を守る働きをするコードです。

そして、遺伝子同士の相互干渉などで、働きがおかしくなった遺伝子達の修復も行います。

ちょうど、皆さんの世界でいえば、パソコンに入れてあるセキュリティ・ソフトのようなものです。

それほど重要なコードには思えないかもしれませんが、このコードを入れておく事で、命拾いをする事もあります。」

私は、そのコードを受け取ると、イデオスにお礼を言います。

「イデオスよ、とても素晴らしいコードをいただき大変ありがとうございます。

これから、様々な遺伝子のコードが組み合わされて、素晴らしい遺伝子構造が出来上がると思います。確かにあなたが言うように遺

伝子を保護する働きを持つライトコードも必要です。

どうもありがとうございました。」

私は、それで帰ろうと思ったのですが、心の中で誰かが引き止めます。

「あなた方の好意に深く感謝します。  
私達は、このクリアリング・コードをもらっていき事にしますが、他に重要なコードはありませんか？」

「TAKESHI さん、それならば、もう一つのアルクツールスならではのコードもお持ちになってください。

それは、意識進化を早めるためのコードである「エボリューション・コード」です。

実は、アルクツールスの人達は、このコードを持っていたために、皆さんよりも早く次元上昇ができました。

このコードは人類の偉大なる進化を早め、より良い人種へと育っていく事をサポートする事でしょう。」

イデオスは、私達をラボの奥の部屋へと案内します。

私達が、奥の部屋に入ると、先ほどの部屋とは異なる光が満ちています。

私達は置かれていた椅子に座るとしばらくの間、リラックスして、新しい「エボリューション・コード」を受け取ります。

私達は、アルクツールスで「クリアリング・コード」と「エボリューション・コード」の2つを受け取り、私達のラボへと運びます。私達は、これからこのラボを中心に、私達の未来にとって必要なライトコード（遺伝子）を巡る新たな冒険が始まっていくのです。

# 宇宙で活躍する神々や創造主 の段階

宇宙で活躍する神々や創造主の段階

青字は天使

地球	マザーガイア、 天照大御神などの世界で活躍する神々（スターピープル） サナートクマラ、サナンダなどのマスター 人間を守る守護天使
太陽系	アメンラー、ゼウス、ポセイドンなどの創造神 大天使
天の川銀河の小創造主	天の川銀河の各星座を担当する小創造主 ペテルギウス、北極星、南十字星、レグルス星、スピカ星等 天の川銀河の大天使
天の川銀河を統治する中創造主	アディテーヤ 仏陀 アリターリア
局部銀河を統治する中創造主	イエス アールスター アリアドーネ 宇宙の魔法使い エルシーダ シバ オニクス ユニバーサル・エンジェル
	グレートイエス グレートマリア
物理世界を創造する創造主	ブラフマン 界王 グレート・スター
ユニバース（単一宇宙）の創造主	グレート・ユニバース グレート・キング グレートマザー グレートエンジェル

特殊な創造主	ゴールドルシファー 宇宙の大地のマスター ホーリーエンジェル
マルチバースの創造主	セントラル・サン&ムーン ゴッデス・オリジン ゴッデス・ユニティ
愛の源の世界	愛の源の世界のマザー エンソフ アメンラー ウイング
高次の物理世界の創造主	セントラルレース セントラルイエス&マリア クリスタルレース デバインマスター
	永遠なる愛の女神 黄金の女神 宇宙の意志 ダイヤモンドの女神
12 神殿に関わる創造主	鳳凰族の創造主 ソフィア族の創造主
	無の創造主 祝福の創造主 太陽種族の創造主
物理世界の系列を表す創造主	輝きの創造主 光と闇の統合の創造主 至高なる愛の創造主 永遠なる時の創造主

## ★物理世界を持つ宇宙

### ○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を

行う創造主もいます。

### ○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

### ○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

### ○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生き育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行って

います。

## ★スピリチュアルな宇宙

### ○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピュータを管理する創造主なども含まれます。

### ○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

### ○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

### ○第8レベル 創造された宇宙の管理を行

## う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

## ○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。